基本方針II

【家庭教育】

1 事業概要(Plan)

評価対象年度 R 5 (2023)年度 4 指標の推移(Check①) 単位 区分 R3(2021) R4(2022) R5(2023) R6(2024) R7(2025) 指標の説明 目標 2 家庭教育通信の発行回 家庭教育通信を発行し 数 実績 2 た合計回数 種別 分類 150.0 100.0 100.0 達成率 指標1単位当たりコスト(千円) 465.3 715.7 754.7 コスト効率 低下 目標 実績 種別 分類 達成率 指標1単位当たりコスト(千円) コスト効率 5 事業の評価 (Check2) 評価の理由・課題 項目 評価 家庭教育に関する情報を目に触れる機 事業のニーズ・実施意義 計画時と変わらない 会を広く設けることが必要。 市が関与する必要性 計画時と変わらない 要 市民生活・地域社会への影響度 大きい 性 実施主体 市が実施主体となる必要がある 市ホームページに掲載することで、保 対象の範囲 適切である 護者だけでなく、より多くの市民に家 取組の内容 目標の達成に向けた取組を行っている 庭教育の情報を提供することができ 効 達成度 目標を達成している 性 上位の施策・目的への寄与 施策の実現に寄与している 家庭教育講座の講師に執筆を依頼する 実施手法•運営主体 適切に設定されている ことで、さらに知識を深める機会を提 受益者負担 求めることができない 供することができた。 率 事業・サービスの水準 コストを抑え適切な水準で進められている 適切に進められている 業務プロセス(進め方・手続き) 施策内 会議での 意見等 6 今後の方向性 (Action) 年度) □ 改善して継続 ■ 現状のまま継続 □ 休廃止 (年度) □ 終了 月) □対象の再設定 (実施時期: 年 月) □ 事業・サービス水準の見直し (実施時期: 年 (実施時期: 月) □ 他事業との連携・統合 事業の □ 業務プロセスの改善(スケジュール等) (実施時期: 年 月) 年 方向性 □ 民間委託を導入・拡大 (実施時期: 月) 年 月) □ 市民等との協働を導入・拡大 (実施時期: 年 月) □ 受益者負担の見直し (実施時期: 年 ロ 特定財源の見直し 月) (実施時期: 年 月) □ その他 (実施時期: 改善内容等

事業名	家庭教育の	サポーター育成	ζ			-ド I - 1	- (1) - ①
	4 30A0086			<u> </u>		国土強靭化	.地域計画
SDGs					事業種類	<mark>80</mark>	・しごと創生総合戦略
	長期成果	•	•	•	•		
求める成果		里					
	短期						
国土強靭化計画		•					
リスクシナリオ事業期間	S57(1982	2)年度 ~ R	7 (2025)年度		≻≘⊥ mu	款 9 項	4 目 1
担当課			西口 武雄	_	会計 一般	v /.	
関係課	生涯学習調	主管課等長	EG TEMPE	_	· 하	款項	
	家庭教育通	量の発行		Z	計	以 以	
事業内容	多庭教 月世	av)ÆIJ					
対象			学校に通う子の				
手法	■ 直営	□ 全部委	<u>託 ロ 一部</u> 5ホームページ/		輔助金等 口	協働	こその他
計画期間中		古の光11次0年	コルームハージ	(の)拘戦			
の主な取組							
2 取組切	犬況(Do①)						
7,1122		発行及び市ホームペ	ージへの掲載 (2回))			
R5年度							
取組状況							
	2	前年度評価に伴	う改善百日		ア	の他改善項目	
改善策			フ吸音楽品			70000000000000000000000000000000000000	
取組状況							
3 771	- (Do2)						(千円)
	<u> </u>	R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度当初予算	R5(2023)年度決算	章 R6(2024)年度当初于	第 R7 (2025) 年度計画
事業費計	А	51	33	39	30	39	39
うち会計年	年度任用職員等経費						
支県国	出金						
財 受益者	負担 B						
源 地方債							
訳その他	ф						
一般則	才源	51	33	39	30	3:	9 39
	人数	0.20	0.20	0,20	0.20	0.20	0.20
正職員	人件費 C	1,345	1,398	1,401	1,479	1,46	4 1,464
総コストC	D=A+C D	1,396	1,431	1,440	1,509	1,50	3 1,503
	職員+会計年度)	1,345	1,398	1,401	1,479	1,46	1,464
うち人件費(正						1	
	トD/人口(円)	22.25	22.83	22,97	24.20	24.10)
市民1人コス	トD/人口 (円) 旦率B/D (%)	22.25	22.83	22.97	24.20	24.10	0

改善により期 待される効果

評価対象年度	R	5	(2023)	年度	
--------	---	---	---	------	---	----	--

1 事業概要(Plan) 事業名 家庭教育事業

事	業名	家庭教育事業	業				コー	F I -	- 2	- (1)	- (1
SI	DGs	4 ROANDRE				Follow	事業種別		戦靭化地		1#-603-A38	co m <i>i</i> tz
					<u>i</u>			まり・	02.	しこと目	生総合単	双联合
		長期成果										
求め	る成果	中期成	果									
		短其	月成果									
	戦別化計画 フシナリオ											
	業期間	S57(1982	P)年度 ~ R	 7 (2025)年度		会計	崇	Ap	項		B	
	当課	生涯学習調		西口 武雄	<u> </u>	会計	崇		項		B	
	係課	工涯于日的	TEMOR			会計	崇		項		Ħ	
		家庭教育講座	ー 卒や就学前健診	診時の子育て講					块			
	業内容					JX=3/17	~ (0 47)	515				
	対象			関心がある市		±m_^/		+カ /#h		フェ	'lh	
	手法	■ 直営 就学前健診9	□ 全部委員における家庭	託 □ 一音 至教育講座の実		補助金等		協働	Ш	その	U	
	期間中	子育て・家庭	庭教育に興味・	関心がある市	民を対象とし	た定期的	な家庭教	教育講座	の実施	笹		
ω±	Eな取組	指定管理者は	こよる各センタ	アーでの子育で	講座の実施							
2	取組状	況 (Do①)										
				教育講座(9村		- A = 1/4	(OE /4	00)				
	5年度		坐(10回) 、 言の発行(2回	オンラインでの))豕庭教育講性	砂角惟	(80/1	O _□)				
取	組状況			ケートの実施)、参加人数	700名						
		自	が年度評価に伴	う改善項目			その)他改善፤	頁目			
	善策		中止していた預	かり保育の受	付を再							
取	組状況	開した。										
3	コスト	· (Do2)									(千円	3)
	×	分	R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度当初予算	R5 (2023)年度決算	R6 (2024) 年	度当初予算	R7 (20	025) 年度	計画
事第	養計	А	123	290	395		288		344		3	95
	うち会計年	度任用職員等経費										
	国県支	出金										
財源	受益者	負担 B										
次内	地方債											
訳	その他											
	一般財	源	123	290	395		288		344		3	95
正服		人数	0.20	0.20	0,20		0.20	(0.20			
тЕн	州 貝	人件費 C	1,345	1,398	1,401	1	1,479	1,	464			Ο
総=	コストD	=A+C D	1,468	1,688	1,796	1	1,767	1,	808		39	95
うちん	人件費 (正	職員+会計年度)	1,345	1,398	1,401	1	1,479	1,	464			Ο
市民	1人コスト	-D/人口 (円)	23.40	26.93	28,65	2	28.34	28	8.99			
受益	益者負担	率B/D (%)										
		事業コード	I - 2 -	-1 - ①		1				<u> </u>		

4 指標の推移(Check①)

_	_	1日1示0万1日1夕(01 100										
		指標名			単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の	り説明
		家庭教育講座の開催数		坐灯		目標	19	19	19	19	19	家庭教育講座	
0	1)			2 X	1	実績	13	19	19			時健診時に都	
	יע	種別	分類			達成率	68.4	100.0	100.0	-	-	合計	0160300
		指標1単位当た	- りコ	スト	(千円	9)	112.9	88.9	93.0	ı	ı	コスト効率	低下
						目標							
0	2)					実績							
6		種別	分類			達成率	-	-	-	-	-		
		指標1単位当た	- りコ	スト	(千円	9)	ı	ı	ı	ı	ı	コスト効率	-

5 事業の評価 (Check2)

١.	5	事業の評価 (Check②)		
		項目	評価	評価の理由・課題
H		事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	多様性やデジタル化などにより子ども
	必要性	市が関与する必要性	計画時と変わらない	を取り巻く環境が急速に変化していく 中で、保護者が情報を得やすく、安全
	女性	市民生活・地域社会への影響度	大きい	に交流できる場を行政が継続的に設け
		実施主体	市が実施主体となる必要がある	ることが望ましい。
		対象の範囲	適切である	オンラインを併用した家庭教育講座の
	有効	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	開催に加え、YouTubeでのアーカイブ の公開、就学前健診時に家庭教育講座
	性	達成度	目標に近づいていない	を実施することで、広く家庭教育を学
		上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	ぶ機会を提供することができた。
		実施手法•運営主体	適切に設定されている	アンケートの結果でニーズの高かった
	効率	受益者負担	求めることができない	オンラインの併用を継続しながら、保 護者同士の交流の場としての質の向上
	性	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	を目指す。
		業務プロセス(進め方・手続き)	適切に進められている	
		施策内 議での		

6 今後の方向性(Action)

_	0 / [27/3]	į	(7 (8 (18) 1)				
1			改善して継続 🛘 現状のまま継続 🔻	休廃止(年度) 口 終了	(年度)
1			□ 対象の再設定	(実施時期:		年	月)
			■ 事業・サービス水準の見直し	(実施時期:		年	月)
			□ 他事業との連携・統合	(実施時期:		年	月)
1	事業の		□ 業務プロセスの改善(スケジュール等)	(実施時期:		年	月)
1	方向性	حاا	□ 民間委託を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
		_	□ 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
5			□ 受益者負担の見直し	(実施時期:		年	月)
1			□ 特定財源の見直し	(実施時期:		年	月)
			□ その他	(実施時期:		年	月)
4		より	0対象者を絞って、参加交流型の連続講座	を開催し、保護者同じ	の交流の場と	する。	
5	改善内容等	また	こ、1講座からでも参加できるように開催	する。			
)	\$20130						
4		/ h I		- 10-14 - 10 - 10 - 11			
	ᇕ	参)	旧者の増加及び子育ての悩みを持つ保護者	の相談の場の役割を扱	せつ。		
1	改善により期待される効果						
_	はらいる効果						

基本方針III

【社会教育】

5	(2023)	年度
	5	5 (2023)

指標の説明

		令和6	3年度	(20	024年	E度)事剤	務事業	評価シ											
事業概	要 (Plan)	.= .0	~						•						4	指標の推		neck(1))
事業名	公民館活動の	の充実						=	コード	Ⅲ .	- 1	- (1) –	1		指	標名		
SDGs	4 SOANSHE							事業種	配 —			地域計画 ・ しごと		合戦略	1	多種多様な催(5施)	殳)	情座の閉 う類	甲
やめる成果		長期成果													指標1単位			1	
土強靭化計画		•													2	種別	4	鉄	
スクシナリオ							1		1										
事業期間	S40(1965	5)年度 ~	R7	(202	5)年度		会計	一般	款	9	項	4		2		指標1単位	1 当にり	ノコスト	_
担当課	生涯学習語	果 主管課	等長	西口	武雄	予算科目	会計	一般	款	9	項	4		3	5	- 9 - 14 - 9 1000 (2))
関係課	会計 一般 款 9 項 4 目										4			項目					
事業内容	地域課題の 時代に応じた し、公民館	た柔軟性の	ある事	業展						定管理	里者制	度」	を導入		必要				義
対象	市民														性		地域社:	会への影	影響
手法	口 直営		部委託		□ 一部		補助金		」 協信	動		その	他			実施主体			
十画期間中 D主な取組	• 指定管理 • 指定管理								e						有	対象の範			
															対	1 42/100	答		
2 取組状	況 (Do①)				T										性	達成度			
	西白井公民館白井駅前公民	館 講座:1	2講座	690	延べ48	4人 講座以	外の事業:	6事業								上位の施	策・目	的への	寄
R5年度	・桜台公民館 ・学習等供用施								業						١	実施手法	運営	主体	
取組状況	・青少年女性センター 講座:6講座 20回 延べ187人 講座以外の事業:4事業(※事情により4講座未実施) 効																		
	前年度評価に伴う改善項目										事業・サ	ービスの	の水準						
改善策											業務プロセ	え(進め	方・手	続き					
取組状況																施策内			
3 コスト	(Do2)												(∓	円)	3	会議での			
×	<u>公</u> 分	R3 (2021) 年	度決算 R4	4 (2022)年度決算 F	R5(2023)年度当	初予算 R5(2	2023) 年度法	·算 R6 (2	2024) 年	度当初予算	R7 (2	(025) £	F度計画		意見等			

3	コスト	ト (Do②)						(千円)
		区分	R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度当初予算	R5(2023)年度決算	R6(2024)年度当初予算	R7 (2025) 年度計画
事第	養計	А	92,183	92,205	93,175	93,174	91,152	93,175
-	うち会計	年度任用職員等経費						
	医県国	5出金						
財	受益者	音負担 B						
源内	地方價	ŧ						
訳	その他	<u>t</u>	29	174	174	174	172	174
	一般則	才源	92,154	92,031	93,001	93,000	90,980	93,001
正服	48	人数	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
ШДЕ	郑 貝	人件費 C	3,363	3,496	3,503	3,699	3,661	3,661
総=	コストロ	D=A+C D	95,546	95,701	96,678	96,873	94,813	96,836
うちん	人件費(ī	E職員+会計年度)	3,363	3,496	3,503	3,699	3,661	3,661
市民1人コストD/人口(円)			1,522.76	1,526.50	1,542.09	1,553.34	1,520.31	
受益者負担率B/D(%)			1					

事業コード Ⅲ - 1 - -1 - ①

目標 90 92 93 95 多種多様な学習講座の開 公民館や公民館類似施設 催(5施設) 実績 80 86 86 が実施した講座の回数の 種別 94.5 93.5 分類 達成率 88.9 指標1単位当たりコスト(千円) 1,194.3 1,112.8 1,126.4 コスト効率 低下 目標 実績 種別 分類 達成率 指標1単位当たりコスト(千円) コスト効率

単位 区分 R3(2021) R4(2022) R5(2023) R6(2024) R7(2025)

5	事業の評価(Check②)		
	項目	評価	評価の理由・課題
	事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	広く市民に生涯学習の機会を提供する取 組であることから必要性は継続してある
必要	「中か)関サ9 る必要性	計画時と変わらない	が、5館の講座延べ参加人数3,578人が 人口62,364人に占める割合が5.7%で
性	市民生活・地域社会への影響度	小さい	あることから市民生活・地域社会への影 響度は小さいと判断した。
	実施主体	他団体が実施している	普及は小でいて刊断した。
	対象の範囲	適切である	青少年女性センターの事業において4講
有交		目標の達成に向けた取組を行っている	座未実施が発生したため、講座実施回数 実績が前年度から横ばいの為、達成度は
性		目標に近づいていない	目標に近づいていないを選択した。
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
	実施手法・運営主体	適切に設定されている	指定管理者による運営が行われるととも
交率		適切である	に、各館とも創意工夫を凝らし講座や事 業を概ね計画通りに実施していることか
性性		コストを抑え適切な水準で進められている	ら適切に進められている。
	業務プロセス(進め方・手続き)	適切に進められている	
	施策内会議での		

今後の方向性(Action) □ 改善して継続 ■ 現状のまま継続 □ 休廃止 (年度) 年度) 🗆 終了 ((実施時期: □ 対象の再設定 年 月) □ 事業・サービス水準の見直し (実施時期: 年 月) □ 他事業との連携・統合 (実施時期: 年 月) □ 業務プロセスの改善(スケジュール等) (実施時期: 年 月) 事業の □ 民間委託を導入・拡大 方向性 (実施時期: 年 月) 年 月) □ 市民等との協働を導入・拡大 (実施時期: □ 受益者負担の見直し (実施時期: 年 月) □ 特定財源の見直し 年 月) (実施時期: □ その他 (実施時期: 年 月) 改善内容等 改善により期 待される効果

R 5 (2023)年度	R	評価対象年度R						
2025) 指標の説明	2025)	R7(2	R6(2024)	023)				
15 各施設で地域交流がで	15		14	13				
さる古世の中共日教の				10				

1 事業概	要(Plan)
事業名	社会教育環境の整備

				Ì				まち	・ひと・し	/ごと創生総	総合戦略		
		長期成果											
求め	る成果	▶ 中期成	果										
		₩短其	明成果										
	鎖羽化計画 フシナリオ												
_	業期間	S40(1965	5)年度 ~ R	 7 (2025)年度	:	会	計一般	款 9	項	4 F	1 2		
担	当課	生涯学習護		西口 武雄	予算科			款 9	項	4 目	3		
関	係課					会	計一般	款 9	項	4 目	1 4		
事	業内容	市民が気軽し	こ地域交流の場	に参加できる	機会を提	供でき	るように、2	民館を利	用して	いる社会	会教育		
	対象	財務回体で	サークル、自治	云、指正官性	台、	はこい	連携し塚児で	登える。					
	手法	□ 直営	■ 全部委	託 口一部	逐託	口補	助金等 ■	協働		その他			
	手法 □ 直営 ■ 全部委託 □ 一部委託 □ 補助金等 ■ 協働 □ その他 ・公民館を管理運営している指定管理者や地域で活動している団体等が協力し、交流事業を実施。 → 立主な取組												
2	取組物	代況 (Do①)											
	本意文派事業が37 - 本意文派事業が37 - 本意文派事業が37 - 本意文派事業が37 - 本意文派事業が37 - 市田井瀬合とがター利用者連絡協議会、西日井徹合センターまつが - 市日井瀬合をである。 田月市第6次報合計画拠点創造プロフェクト「轄省」、コミュニティファンド〜駅前ファンド〜、駅前ボランディア - 保留公別館 保台センター利用者連絡会、さくセンフェスタ、地域イズム。 - 学等等利用機能 富士 センターフェスティバル、美化次派会、シニア発生、るじっこダイニング - デカタイ - アクリー・ 福祉センター・ 一名 - アクリー・ - アク												
		自	前年度評価に伴	う改善項目			そ	の他改善	項目				
-	(善策 組状況												
3		(Do2)	DD (0001)	D. (0000)	/		DE (0000) Table	(· ·			千円)		
+ +		<u> </u>		R4 (2022) 年度決算			R5 (2023) 年度決議	-					
∌ ∌	費計	A F度任用職員等経費	92,183	92,205	93	,175	93,174	91	,152	93	3,175		
	国県支												
財	受益者												
源	地方債												
内訳	その他]	29	174		174	174		172		174		
	一般則	 惊	92,154	92,031	93	,001	93,000	90	,980	93	3,001		
T PA		人数	0.50	0.50		0.50	0.50)	0.50		0.50		
田田	以具	人件費 C	3,363	3,496	3	,503	3,699	3	,661	3	3,661		
総二	コストロ	=A+C D	95,546	95,701	96	,678	96,873	94	,813	96	5,836		
うちん	人件費(正	職員+会計年度)	3,363	3,496	3	,503	3,699	3	,661	3	3,661		
市民	1人コス	トD/人口 (円)	1,522.76	1,526.50	1,54	2.09	1,553.34	1,52	0.31				
受益	益者負担	国率B/D (%)											
	事業コード II - 21 - ①												

4 指標の推移(Check①)

コード III - 2 - (1) - ① 国土強靭化地域計画

			指標名			単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の	の説明
I			交流の場の	D提供			目標	11	12	13	14	15	各施設で地域	或交流がで
ı,	1)	(5)	施設)				実績	11	14	16			きる事業の実	実施回数の
ľ	D	種別		分類			達成率	100.0	116.7	123.1	-	-	合計	
		指標1単位当たりコスト((千円	3)	8,686.0	6,835.8	6,054.5	ı	ı	コスト効率	向上
							目標							
ı,	2						実績							
ľ	۷	種別		分類			達成率	-	-	-	-	-		
		指標	1 単位当た	ミりコ	スト	(千円	9)	ı	ı	1	-	ı	コスト効率	-

5 事業の評価(Check2)

	2	事業の評価 (Check2)		
		項目	評価	評価の理由・課題
		事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	地域コミュニティの希薄化が進んでい
1	必要	市が関与する必要性	計画時と変わらない	る中、指定管理者及び地域団体、地域 住民の交流の機会は必要である。
1	性	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
		実施主体	他団体が実施している	
		対象の範囲	適切である	各地域の状況に合わせて、地域交流の
1	有効	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	方法を工夫し、市の施策に合わせた事 業も展開していることから、有効性は
*	性	達成度	目標を達成している	高い。
		上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
		実施手法•運営主体	適切に設定されている	指定管理者や地域のボランティア団体
3	効率	受益者負担	適切である	などが中心となって話し合い、地域交 流の場の提供を計画的に実施している
1	性性	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	ことから、効率性は高い。
		業務プロセス(進め方・手続き)	適切に進められている	
		拖策内 議での		

6 今後の方向性(Action)

ı		₽	改善して継続 ■ 現状のまま継続 □	休廃止	年度 年度)	□ 終]		年度)
1			□ 対象の再設定		(実施時期:			年	月)
4			□ 事業・サービス水準の見直し		(実施時期:			年	月)
ı			□ 他事業との連携・統合		(実施時期:			年	月)
	事業の		□ 業務プロセスの改善(スケジュール等)		(実施時期:			年	月)
1	方向性	╽┕	□ 民間委託を導入・拡大		(実施時期:			年	月)
1			□ 市民等との協働を導入・拡大		(実施時期:			年	月)
ı			□ 受益者負担の見直し		(実施時期:			年	月)
)			□ 特定財源の見直し		(実施時期:			年	月)
1			□ その他		(実施時期:			年	月)
4									
ò	改善内容等								
1									
1									
4	改善により期								
╛	待される効果								

基本方針IV

【生涯学習】

令和6年度(2024年度)事務事業評価シート(重点戦略事業) 評価対象年度 R 5 (2023)年度 1 事業概要(Plan) 4 指標の推移(Check①) 単位 区分 R3(2021) R4(2022) R5(2023) R6(2024) R7(2025) 指標の説明 指標名 事業名 放課後子ども教室事業 **□ード** IV - 1 - (1) -目標 4 国十端鄞化地域計画 教室開設数 校 放課後子ども教室実施 SDGs 事業種別 実績 3 3 4 校数 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略 種別 活動指標 分類 【創】 100.0 100.0 100.0 達成率 子育てや教育に関する不安が軽減され、地域全体で安心して子育てや教育ができる。 指標1単位当たりコスト(千円) 2,790.3 3.399.0 3,649.5 コスト効率 低下 ⇒白井で子育てしたいと思う人が増加し、年齢バランスを維持できるまちになる。 求める成果 目標 → 中期成果 | 親と子が家庭以外で地域に安心して相談し、過ごせる場所がある。 ■ 短期成果 子どもが放課後を安心して安全に過ごすことができる居場所ができる。 実績 国十端劉化計画 種別 分類 達成率 ノスクシナリフ 指標1単位当たりコスト(千円) コスト効率 事業期間 H20(2008)年度 ~ R7(2025)年度 会計 一般 款 9 項 4 款 項 事業の評価(Check2) 担当課 生涯学習課 主管課等長 西口 武雄 予算科目 会計 目 評価 評価の理由・課題 項目 項 関係課 会計 款 目 家庭環境に左右されることなく、全児童が放 事業のニーズ・実施意義 計画時と変わらない ||学校の余裕教室等を活用して、コーディネーターが企画したカリキュラムに沿って、子ども達が異学年の子どもや地域の大人なと 課後に安心しながら様々な体験や活動が行え 事業内容 様々な人と関わりながら、多様な体験活動や交流活動を実施する放課後子ども教室を運営する。 市が関与する必要性 計画時と変わらない る場を提供するとともに、希薄化している地 要 域と児童の繋がりを強化するための一助とな 対象 市内小学校に通う児童 市民生活・地域社会への影響度 大きい 性 るため、本事業は必要性がある。 手法 □ 全部委託 ■ 一部委託 □ 補助金等 ■ 協働 □ その他 実施主体 他団体が実施している 放課後子ども教室の運営【R4(2022)年度~R7(2025)年度】 放課後子どもプラン推進委員会で協働運営及び事業者 計画期間中 対象の範囲 適切である 放課後子ども教室の新規開室準備【R4(2022)年度~R7(2025)年度】 委託運営を比較し、今後は、地域の方々から協力を得 の主な取組 取組の内容 目標の達成に向けた取組を行っている ながらも、事業者委託の運営方法を主体とする方針と 効 達成度 目標に近づいている また、令和6年度に桜台小学校で実施するために、関 2 取組状況 (Do①) 性 係機関と協議した取り組みを行った。 5内小学校の4箇所(白井第二小学校、大山口小学校、池の上小学校、白井第一小学校)で放課後子ども教室を運営 上位の施策・目的への寄与 施策の実現に寄与している 令和6年度から桜台小学校で新規開設を行うため、学校やその他関係機関と調整を行った。 R5年度 白井市放課後子ども総合プラン行動計画を策定し、令和11年度末までの事業拡大等の方針を決定した。 より継続的な事業運営を行うため、市と地域 実施手法•運営主体 適切に設定されている 協力者の協働で実施している2校の運営主体 取組状況 効 受益者負担 適切である を事業者に変更する余地がある。その際、地 率 域住民と児童の交流が希薄化しないよう工夫 事業・サービスの水準 前年度評価に伴う改善項目 コストを抑え適切な水準で進められている その他改善項目 する必要がある。 改善策 適切に進められている 業務プロセス(進め方・手続き) 取組状況 今後も参加児童に多種多様な体験・活動が行えるプログラムを提供するために、官民連携の取り 組みを行う。 会議での 3 コスト (Do2) 意見等 R3 (2021) 年度決算 R4 (2022) 年度決算 R5 (2023) 年度当初手算 R5 (2023) 年度決算 R6 (2024) 年度当初手算 R7 (2025) 年度計画 区分 事業費計 Α 1,646 3,205 7,839 7,201 10,309 11,979 今後の方向性(Action) ■ 改善して継続 □ 現状のまま継続 □ 休廃止 年度) 🗆 終了 年度) うち会計年度任用職員等経費 年 月) □ 対象の再設定 (実施時期 国県支出金 1,643 3,533 年 □ 事業・サービス水準の見直し (実施時期: 月) 財受益者負担 R 30 25 66 36 75 75 年 月) □ 他事業との連携・統合 (実施時期: 源 事業の □ 業務プロセスの改善(スケジュール等) (実施時期: 年 月) 地方債 方向性 月) ■ 民間委託を導入・拡大 (実施時期: 訳 その他 891 年 月) □ 市民等との協働を導入・拡大 (実施時期 725 8,37 -般財源 3,180 7,773 7,165 8,591 年 月) □ 受益者負担の見直し (実施時期: □ 特定財源の見直し 年 月) (実施時期 人数 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00 正職員 □ その他 (実施時期 年 月) 7.321

7.321

19.300

7.32

0.39

事業コード Ⅳ - 1 - -1 - ①

6.725

8.371

6.725

13341

0.36

6.992

6.992

162.65

0.25

10.197

7.006

7.006

0.44

14.845

236.79

7.397

14.598

7.397

234.08

0.25

17,630

282.70

7.321

0.43

内

人件費

総コストD=A+C D

うち人件費(正職員+会計年度)

市民1人コストD/人口(円)

受益者負担率B/D(%)

C

改善内容等

改善により期

待される効果

本事業を推進するにあたり、児童により充実した場を提供できるように、本事業にも精通しておりかつ学童保育所を運営してい

なお、現在、市直営と地域協力者による運営で実施している2校(二小・大小)については、令和9年度までに、事業者委託によ

民間事業者が持つ放課後子ども教室の運営の知識や技術を活用し、より充実した事業を実施す

る事業者へ放課後子ども教室運営業務の委託を行う。

ることができる。

る運営方法に変更できるよう、関係機関と調整を行う。

令和6年度(2024年度)事務事業評価シート(重点戦略事業) 評価対象年度 R 5 (2023)年度 1 事業概要 (Plan) 4 指標の推移(Check①) 単位 区分 R3(2021) R4(2022) R5(2023) R6(2024) R7(2025) 指標の説明 事業名 白井市民大学校事業 コード IV - 2 - (1) -目標 60 60 70 70 80 ボランティア、市民活動へ 国十端鄞化地域計画 ボランティア、市民活 実施意欲を持つ人の割合 SDGs 事業種別 実績 43 61 63 動へ実施意欲を持つ人 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略 ÷受講人数×100 種別 成果指標 分類 【創】 71.7 101.7 90.0 達成率 地域住民主体で地域を守り、支え合い、健康に暮らせる環境が整う。 コスト効率 指標1単位当たりコスト(千円) 1660 1211 1248 ⇒住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちになる。 求める成果 30 30 30 30 30 → 中期成果 | まちづくりに対する意識が高まり、地域住民主体の地域活動が活性化する。 目標 地域住民・市民団体を講師 地域市民・市民団体を ➡ 短期成果 地域活動に意欲を持つ市民が増える。 として開催した講座数 実績 29 26 30 講師として開催した講 国十端劉化計画 座数÷講座数×100 種別 活動指標 分類 達成率 96.7 86.7 100.0 ノスクシナリフ 指標1単位当たりコスト(千円) 246.2 284.0 262.1 コスト効率 向上 事業期間 H17(2005)年度 ~ R7(2025)年度 一般 9 項 会計 款 4 生涯学習課 主管課等長 西口 武雄 款 項 5 事業の評価(Check2) 担当課 予算科目 会計 目 項目 評価 評価の理由・課題 関係課 項 会計 款 目 各公民館自主事業及び各課と重複している講 事業のニーズ・実施意義 計画時と変わらない 目的にあわせ2学部を設け体系的なプログラムを組み講座を開催する。講座プログラムは、参加交 座や受講生アンケートにより、講座見直しを 事業内容 市が関与する必要性 薄れている 行っているが、団体を立ち上げる等の地域活 **流型の学習手法を取り入れて実施する。** 要 動には繋がっていないため、市民大学のあり 対象 いきいきシニア学部:市内在住60歳以上 ささえあい発見学部:市内在住30歳以上 市民生活・地域社会への影響度 小さい 性 方を検討する必要がある。 手法 ■ 直営 □ 全部委託 □ 一部委託 □ 補助金等 □ 協働 他団体が実施している 実施主体 白井市民大学校講座の開催【R4(2022)年度~R7(2025)年度】 卒業生が立ち上げた団体を紹介するなど、幅 計画期間中 対象の範囲 適切である 広く学習の機会を提供するとともに、地域活 の主な取組 取組の内容 目標の達成に向けた取組を行っている動の啓発を行っている。 効 達成度 目標を達成している 2 取組状況 (Do①) 性 ハきいきシニア学部 講座回数17回(1回荒天により中止) 上位の施策・目的への寄与「施策の実現に影響しない ささえあい発見学部 講座回数16回(1回荒天により中止) R5年度 職員による講座や、市民活動団体による座学 実施手法 • 運営主体 適切に設定されている やフィールドワーク講座を行うなど、地域に 取組状況 効 受益者負担 適切である 密着した学習を提供できている。 率 事業・サービスの水準 その他改善項目 コストを抑え適切な水準で進められている 前年度評価に伴う改善項目 改善策 eモニターを活用し、市民大学校の認知度や市 業務プロセス(進め方・手続き) 適切に進められている 取組状況 が開催する講座のニーズについてアンケート調 まちサポや各課と連携して事業内容を充実させること。 査を実施した。 また、しろいまっちに記事にしてもう等、市民大学校の周知に努めること。 会議での 3 コスト (Do2) 意見等 R3 (2021) 年度決算 R4 (2022) 年度決算 R5 (2023) 年度当初手算 R5 (2023) 年度決算 R6 (2024) 年度当初手算 R7 (2025) 年度計画 区分 事業費計 Α 414 393 544 466 545 749 今後の方向性(Action) ■ 改善して継続 🗆 現状のまま継続 🗆 休廃止 (年度) □ 終了 (うち会計年度任用職員等経費 (実施時期: R8 (2026) 年 4 月) 対象の再設定 国県支出金 (実施時期: R6 (2024) 年 4 ■ 事業・サービス水準の見直し 月) 財 受益者負担 R 104 125 250 250 250 250 (実施時期: 年 月) □ 他事業との連携・統合 源 事業の □ 業務プロセスの改善(スケジュール等) (実施時期: 年 月) 地方債 内 方向性 年 月) □ 民間委託を導入・拡大 (実施時期: 訳その他 年 月) □ 市民等との協働を導入・拡大 (実施時期: 一般財源 310 268 294 216 295 499 年 月) □ 受益者負担の見直し (実施時期: □ 特定財源の見直し 年 月) (実施時期: 人数 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00 1.0C 正職員 □ その他 (実施時期 月) 人件費 6.725 6.992 7.006 7.397 7.321 7.321 C 受講者アンケートの結果等をもとに講座内容を改善し、事業を実施する。 7.385 7,550 7.863 7.866 総コストD=A+C D 7.139 8.070 また、求める成果と事業内容にミスマッチが起こっているため、第6次総合計画に向けて市民 改善内容等 7.32 大学校のあり方(事業の目的、学部構成、講座内容等)の検討を引き続き行っていく。 6.725 6.992 7.006 7.397 7.321 うち人件費(正職員+会計年度)

市民1人コストD/人口(円)

受益者負担率B/D(%)

113.78

事業コード Ⅳ - 2 - -1 - ①

1.46

117.80

1.69

120.43

3.31

126.08

3.18

126.13

3.18

改善により期

待される効果

3.10

受講者の増加

地域活動に意欲を持つ市民の増加

1 事業概要(Plan) 事業名 立春式事業

シー	٠,														≣Ψ	価対象年	度 R	5 (20	23)年度
	- ド	TV .	- 2	- (1)) –	(2)	4	指標の推		neck①		区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標	の説明
	Ė	1		也域計画				中佐拉			校	目標	5					1 + 5 + 31/	
業種別	J						1	実施校			仪	実績	5					立春式事業 学校数	を実施した
		まち・	· 02 ·	しごと創	割生総領	合戦略	0	種別	允	類	•	達成率	100.0	-	-	-	-	J 12.00	
								指標1単位	当たり)コスト	(千F	円)	201.5	-	-	-	-	コスト効率	-
												目標							
							2					実績							
							0	種別		群		達成率	-	-	-	-	-		
Λ ;	款	9	項	4	B	1		指標1単位	当たり)コスト	(千F	9)	-	-	-	-	-	コスト効率	-
1	款		項		B		5	事業の評		neck@)								
	款		項		В				項目					評価			評値	5の理由・課	題
		<i>+</i>	الم	各中学	≐校で	*実施		事業の二	ーズ・	実施意義	轰	薄れて	いる						
			,		1/2 3	- > < ::0	必要	市が関与	する必	要性		計画時	と変わら	ない					
	協個	Eh		その	1th		性	市民生活・	地域社:	会への影	響度	小さい	ı						
	1355 19	則		ての	שווי			実施主体				市が実	施主体と	なる必要	がある				
							١.	対象の範	囲			縮小す	る必要が	ある					
							有効	取組の内容	容			目標の	達成に向け	けた取組を	を行ってい	る			
							性	達成度				目標に	近づいて	いない					
								上位の施設	策・目	的への智	事与	施策の	実現に寄	与してい	る				
							-1-1-	実施手法	• 運営	主体		適切に	設定され	ている					
							効率	受益者負担	<u> </u>			求める	ことがで	きない					
その	の他i	改善	項目				性	事業・サ	ービス	の水準		コストを	を抑え適切な	な水準で進	められてい	る			
								業務プロセス	ス(進め	方・手続	き)	改善の	余地があ	る					
								施策内											
						円)		会議での 意見等											
F度決算	R6 (2	2024) 年	度当初予算	₹ R7 (2	(025)	年度計画													
							6	今後の方	回性(Action)								

SDG	4 50000000				事業種別		b域計画 しごと創生総合戦略	1	実施校種別	校 分類	日標 5 実績 5 達成率 100.0	_	立春式事業を実施した学校数
	長期成果									当たりコスト(千	円) 201.5 -	_	- コスト効率 -
求める成	果 → 中期成	里									目標		
	短期										実績		
国土強靭化								2	種別	分類	達成率	_	
リスクシナリ事業期		1) 年度 ov B	3(2021)年度		計一般	款 9 項	4 目 1			当たりコスト(千	円)	_	- コスト効率 -
担当語	-					款項	日 日	_		(Check(2)			
関係調		* TEM-1X		会		款項		Ľ		頁目	評価		評価の理由・課題
事業内	市内各中学		者で構成された立 などの事業に必要	Z春式実行委員	会と協議を図			必	市が関与す	-ズ・実施意義 「る必要性	薄れている 計画時と変わらない		
対象	市内中学校		人工的事本记记		19 00			要性	市民生活・地	也域社会への影響度	小さい		
手法	□直営	□ 全部委			助金等	協働 🗆	その他	11	実施主体		市が実施主体となる必要	がある	
計画期間		での体験活動が 業補助金の交付	及び記念式典の実 オ	€施					対象の範囲	1	縮小する必要がある		
の主な取	40	業のあり方の核	-					有	取組の内容		目標の達成に向けた取組を	を行っている	
2 IV	II状況(Do①)							効性	J = +b = +		目標に近づいていない		
							'-		ま・目的への寄与	施策の実現に寄与してい	る		
	5年度							実施手法•	・運営主体 適切に設定されている				
取組状	兄							効	Z IIII H 514	<u> </u>	求めることができない		
	Ē	前年度評価に伴	学う改善項目		そ(の他改善項目		率性		-ビスの水準	コストを抑え適切な水準で進	められている	
改善領									業務プロセス	(進め方・手続き)	改善の余地がある		
取組状	兄								施策内				
3 🗆	スト (Do②)						(千円)		会議での				
XIV	区分		R4(2022)年度決算 F	35(2023)年度当初予算	R5(2023)年度決算	R6(2024)年度当初予算	R7 (2025) 年度計画		意見等				
事業費		335	0					6	今後の方向	回性(Action)	□ 現状のまま継続 [7 /大家山	(年度) ■ 終了 R3 (2021) 年度
	計年度任用職員等経費									□ 対象の再			実施時期: 年 月)
財受益	表出金 特色担 B										ービス水準の見直し		実施時期: 年 月)
源地方									事業の	100111	の連携・統合 2スの改善(スケジュール等)		実施時期: R4 (2022) 年 3 月) 実施時期: 月)
内記を									方向性		を導入・拡大		実施時期:
)	335	0	0	0	0	0				の協働を導入・拡大		実施時期: 年 月)
	人数	0.10		J	0	0	O			□ 受益者負□ 特定財源			実施時期: 年 月) 年 月) 月(月) 月(月) 月(月) 月(月) 日(日) 日(日) 日(日) 日
正職員	人件費 C	673	0.00	0	0	0	0			□ その他			実施時期: 年 月)
総コス	D=A+C D	1,008	, ,	0	0	· ·	· ·	2	改善内容等				
うち人件費	(正職員+会計年度)	673	0	0	0	0	0		사민NJG 급				
市民1人	ストD/人口 (円)	16.06	0.00	0.00	0.00	0.00			**! 10 **				
受益者的									(善により期) 行される効果				
	事業コード	N - 2 -	-1 - ②			1	טו	CIUUMA					

評価対象年度 R 5 (2023)年度

1 事業概要(Plan)

1 7/1/1/1	i女(Fidil)											
事業名	図書館サービス推進事業	□-I	. IV	- 2	- (2) –	1					
SDGs	3 WARDAL 4 Decision 5 Management 8 Maries 8 Maries	■業種別 ■	国土	強靭化均	也域計画							
			まち	・ひと	・しごと	創生総合	戦略					
	長期成果											
求める成果	▶中期成果											
	短期成果											
国土強靭化計画												
リスクシナリオ												
事業期間	H6(1994)年度 ~ R7(2025)年度 会計 -	般款	9	項	4	Ħ	6					
担当課	文化センター 主管課等長 髙花 宏行 予算科目 会計	款		項		B						
関係課	文化センターブラネタリウム館 健康課 会計	款		項								
事業内容	図書館の利用者層・利用目的に対応したサービスの調査・研究で サービスを提供する。また、社会情勢の変化に対応した機器の				ーズに	沿っ7	Ē					
対象	乳幼児~一般市民											
手法	■ 直営 □ 全部委託 ■ 一部委託 □ 補助金等		協働		その	他						
計画期間中の主な取組	・レファレンスサービスの提供 ・児童、青少年サー ・障がい者、高齢者サービスの提供 ・利用者ニーズの調査・研究及び社会情勢の変化に対応した機能			য								
2 取組状	況(Do①)											

2 取組状況(Do①)

R5年度 取組状況	開館日数:294日 入館者数:161,733人(550人/日) 貸出点該	牧:(個人)381,984点(1,299点/日)、(団体) 15,737点
	前年度評価に伴う改善項目	その他改善項目
改善策 取組状況		運営にあたる人の配置・歳入に関して、近隣図書館の運営方法を調査・研究した。

3 コスト (Do2) (千円)

	[区分	R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度当初予算	R5(2023)年度決算	R6(2024)年度当初予算	R7 (2025) 年度計画
事第	養計	А	37,173	37,939	38,330	39,895	40,369	40,369
-	うち会計	年度任用職員等経費	31,221	31,413	32,367	34,196	34,068	34,068
	医県国	支出金	0	0	0	0	0	0
財源	受益者	皆負担 B	9	62	1	102	1	1
内	内地力順		0	0	0	0	0	0
訳	その他	<u>t</u>	81	107	137	176	173	173
	一般財源		37,083	37,770	38,192	39,617	40,195	40,195
正服		人数	5.50	4.00	4.00	4.00	3,00	3.00
шл	# !	人件費 C	36,988	27,968	28,024	29,588	21,963	21,963
総二	コスト[D=A+C D	74,161	65,907	66,354	69,483	62,332	62,332
うちん	人件費(]	E職員+会計年度)	68,209	59,381	60,391	63,784	56,031	56,031
市民	1人コス	.トD/人口 (円)	1,181.93	1,051.27	1,058.40	1,114.15	999.49	
受益	益者負担	旦率B/D (%)	0.01	0.09	0.00	0.15	0.00	0.00

事業コード № - 2 - -2 - ①

4 指標の推移 (Check①)

	指標名 単位 🗵			R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の	D説明
	図書館レファレンス(資	件	目標	4,000	4,100	4,200	4,300	4,330	図書館司書が	が利用者の
1)	料案内•参考調査)数	117	実績	3,902	3,797	3,718			課題を解決す	するために
0	種別 分類		達成率	97.6	92.6	88.5	-	-	調査した指標	<u></u>
	指標1単位当たりコスト	(千F	9)	19.0	17.4	18.7	ı	ı	コスト効率	低下
			目標							
2			実績							
(L)	種別 分類		達成率	-	-	-	-	-		
	指標1単位当たりコスト	(千F	9)	-	-	-	-	-	コスト効率	-

5 事業の評価(Check2)

	5	事業の評価 (Check2)		
ĺ		項目	評価	評価の理由・課題
		事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	学校図書館や市内の図書室と連携し、
	必要	市が関与する必要性	計画時と変わらない	市民の生涯学習を支援する。さらに図書館内の環境を整え、安全な利用環境
	性	市民生活・地域社会への影響度	大きい	作りに努める。
		実施主体	市が実施主体となる必要がある	
		対象の範囲	適切である	インターネットに接続できる端末とWi- Fi環境を整え、自宅やオフィス、学校と
	有効	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	「は現る差え、自ももオフィス、学校と は異なる第3の居場所の提供に努める。
	性	達成度	目標に近づいている	
		上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
ĺ		実施手法•運営主体	適切に設定されている	ICT技術を活用するなど、業務の簡略化
	効率	受益者負担	求めることができない	をしながらサービスの質を維持するよう う努める。
	性	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
		業務プロセス(進め方・手続き)	改善の余地がある	
		施策内 議での		

6 今後の方向性(Action)

			改善して継続 □ 現状のまま継続 □	休廃止 (年度) 🛮 終了	(年度)
1			□ 対象の再設定	(実施時期:		年	月)
ı			□ 事業・サービス水準の見直し	(実施時期:		年	月)
			□ 他事業との連携・統合	(実施時期:		年	月)
l	事業の		■ 業務プロセスの改善(スケジュール等)	(実施時期:		年	月)
ł	方向性		□ 民間委託を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
l		^	□ 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
			ロ 受益者負担の見直し	(実施時期:		年	月)
1			ロ 特定財源の見直し	(実施時期:		年	月)
ł			□ その他	(実施時期:		年	月)
1		貸出	出・返却・予約の受け取りを市民自らが行	えるようなICTの活用	を検討する。		
	改善内容等						
1							
t		利用	用者のプライバシーへの配慮を行い、かつ	業務改善、作業効率力	が上がる。		
ł	改善により期	137		**************************************	, 1,3 00		
	待される効果						
-							

評価対象年度 R 5 (2023)年度

		コルロク		20244	トタノザの	カザ木	一川山ノ	1					
事業概	要(Plan)												
事業名	図書館資料整	備事業					=	コード	IV	- 2	- (2) –	2
SDGs	3 #410AE	4 MARC	5 #NC		ižsius Iridus		事業種	 \$\$	国土	強靭化は	地域計画	İ	
<u> </u>	-₩•		Ę	1			7*1:	±/35	まち	・ひと・	・しごと創	創生総合	戦略
えめる成果	長期成果												
くのる以末	中期成果												
	短期♬	戊果											
土強靭化計画													
スクシナリオ													
事業期間	H6(1994)	₹度 ~	R7(2	025)年度		会計	一般	款	9	項	4		6
担当課	文化センター	主管課	等長高	花 宏行	予算科目	会計		款		項			
関係課						会計		款		項			
***	図書・雑誌・	新聞など	の資料の	収集・整理	里・保存・	提供を征	うう。ま	た、	デーク	7ベー	スなと	最新	の情

報ツールを提供するとともに、電子書籍の導入や郷土資料のデジタル画像化等を検討する。

■ 直営 □ 全部委託 ■ 一部委託 □ 補助金等 □ 協働 □ その他

・図書・雑誌・新聞などの資料の収集(購入・寄贈受入)及び整理・保存・提供

2 取組状況 (Do①)

3 コスト(Do2)

市民1人コストD/人口(円)

受益者負担率B/D(%)

乳幼児~一般市民

電子書籍導入の検討

・郷土資料のデジタル画像化等の検討

対象

手法

計画期間中

の主な取組

図書受入冊数: 10,509冊 雑誌受入タイトル数: 183誌 新聞受入タイトル数: 23紙 視聴覚資料受入点数: 228点 データベース: 4タイトル 取組状況 前年度評価に伴う改善項目 改善策 取組状況 蔵書管理に有効な | C T の活用を検討してい る。

R3 (2021) 年度決算 R4 (2022) 年度決算 R5 (2023) 年度当初予算 R5 (2023) 年度決算 R6 (2024) 年度当初予算 R7 (2025) 年度計画 事業費計 22,524 22,781 23,157 23,092 23,017 23,017 うち会計年度任用職員等経費 0 0 0 0 国県支出金 0 0 0 0 0 0 財受益者負担 30 24 48

源 0 0 0 地方債 0 内 0 訳その他 0 0 23,044 一般財源 22,494 22,757 23,156 23,016 23,016 人数 2.00 2.00 2.00 2.00 2.00 2.00 正職員 人件費 C 13.450 13,984 14.012 14,794 14.642 14.642 35,974 37.659 37.659 総コストD=A+C D 36,765 37,169 37,886 14,794 14,642 うち人件費(正職員+会計年度) 13,450 13,984 14,012 14,642

592.87

0.00

607.50

0.13

603.86

0.00

0.00

586.43

0.07

事業コード Ⅳ - 2 - -2 - ②

573.34

0.08

4 指標の推移(Check①)

_		10 12 07 12 19 (0110011									
		指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の	D説明
					目標							
c.	D.				実績							
	יע	種別	分類		達成率	-	-	1	1	-		
		指標1単位当た	- りコス	スト(千F	9)	-	ı	ı	ı	ı	コスト効率	-
					目標							
C	2)				実績							
(2		種別	分類		達成率	-	-	1	-	-		
		指標1単位当た	こりコス	ハー(千円	9)	-	Ī	Ī	Ī	Ī	コスト効率	-

5 事業の評価 (Check²)

ı	5	事業の評価 (Check②)		
1		項目	評価	評価の理由・課題
-		事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	市民の学習を支援するには、多くの図
	必要	市が関与する必要性	計画時と変わらない	書が必要である。市内に書店がないことから、図書館において収集・整理・
	性	市民生活・地域社会への影響度	大きい	保存することは重要である。
-		実施主体	市が実施主体となる必要がある	
		対象の範囲	適切である	複本数を抑えて、多くの分野の図書を
	有効	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	購入できるように努める。
	性	達成度	目標に近づいていない	
		上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
		実施手法・運営主体	適切に設定されている	毎年計画的に資料購入を行い、市民要
	効率	受益者負担	求めることができない	求にこたえるように努める。 C T を 活用した新媒体(電子書籍等)について調
	性	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	査・研究する。
		業務プロセス(進め方・手続き)	改善の余地がある	
		施策内 議での		

6 今後の方向性 (Action)

)		■改	善して継続 🛘 現状のまま継続 🔻	休廃止	(年度) 🗆	終了	(年度)
1			対象の再設定		(実施時期:			年	月)
4			事業・サービス水準の見直し		(実施時期:			年	月)
			他事業との連携・統合		(実施時期:			年	月)
)	事業の		業務プロセスの改善(スケジュール等)		(実施時期:			年	月)
	方向性		民間委託を導入・拡大		(実施時期:			年	月)
'			市民等との協働を導入・拡大		(実施時期:			年	月)
9			受益者負担の見直し		(実施時期:			年	月)
)			特定財源の見直し		(実施時期:			年	月)
)			その他		(実施時期:			年	月)
4		蔵書管	理に有効なICTの活用を検討する。						
)	改善内容等								
2									
1		図書館	業務の作業効率が上がり、利用者サー	-ビスが	句上する。				
+	改善により期								
7	待される効果								

슦

1	事業概	要(Plan)											
事	業名	プラネタリ	ウム館運営事業					ا ۲	IV -	2 -	- (3)	-	1
SI	DGs	4 ROANDRE					事業種類	別 —	国土強難			削生総合	*戦略
			<u> </u>		<u> </u>				A.D. C	, , ,	JCCE	53	1+2400
-45.4	7.4.E	長期成果											
水区	る成果	中期风											
		短期	胡成果										
	戦靭化計画 フシナリオ												
	業期間	H6(1994)年度 ~ R	7(2025)年度	3	会計	一般	款	9 1	項	4	B	7
_	当課		一 主管課等長		_	会計	152	款		頃		Ħ	
	係課	生涯学		1410 2213		会計		款		頃		Ħ	
1/2) I/NUA			層に応じた特色			肿する				の幼科		保
事	業内容	育園などと記観望会を開	連携し、教育課 催する。	程、保育課程に									
	対象	白井市内外		=	T 7	+11+ ^ /-		1-1-1-1	F.h.		7.01	11 12	
-	手法	■ 直営	□ 全部委	託 ■ 一部 組の制作及び搭		補助金領	 ■	協個	則	Ш	その	也	
	期間中			連携した番組の		ŧ							
の王	Eな取組	•天文観望	会・講座、講演	会の開催									
2	田区約日小米												
	서소비교 1/												
R	5年度組状況	ドイツでプ 行った。また 準備を行った。	た、令和6年度 た。投映回数5	誕生して100原 に白井のプラネ 26回 来館者 場足)と回答した	タリウム館開 数16,301人	館30周	月年を迎	える	ためイ	ベン	トを1	全画し	^
R	5年度	ドイツでプ 行った。ま 準備を行った ンケートで、	た、令和6年度 た。投映回数5	に白井のプラネ 26回 来館者 場足)と回答した	タリウム館開 数16,301人	館30周	9年を迎 見覧満足	! 度	ためイ	ベン (※接	トを1	全画し	^
RS 取締 改	5年度	ドイツでプ 行った。ま 準備を行った ンケートで、	た、令和6年度 た。投映回数5. 、おもしろい(流	に白井のプラネ 26回 来館者 場足)と回答した	タリウム館開 数16,301人	館30周	9年を迎 見覧満足	! 度	ためイ 97%	ベン (※接	トを1	全画し	^
RS 取締 改	5年度組状況 ヹ善策組状況 コスト	ドイツでプ 行った。まだ 準備を行った ンケートで、 「 (Do2)	た、令和6年度 た。投映回数5点 おもしろい保 前年度評価に伴	に白井のブラネ 26回 来館者 満足)と回答した う改善項目	・タリウム館開 数16,301人 割合)	館30周 投映電	写年を迎 見覧満足 そ	i 戻 の他i	ためイ 97% 改善項	ベン (※报 目	トを1	全画し	カア
改取 3	5年度組状況 (善策組状況) コスト	ドイツでブ 行った。ま 準備を行っ ンケートで、 (Do2)	た、令和6年度 た。投映回数5点 おもしろい(流 前年度評価に伴	に白井のブラネ 26回 来館者 満足)と回答した う改善項目	タリウム館開 数16,301人 割合)	1 R5 (202	9年を迎 見覧満足 そ 23) 年度決調	1 度 の他i	ためイ 97% 改善項	ベン(※投	トを1	全画し 野後の (千F	のア
改取 3	5年度組状況 型善策組状況 コスト 区費計	ドイツでブ 行った。ま 準備を行っ ンケートで、 (Do2) ス分	た、令和6年度 た。投映回数5点 おもしろい保 前年度評価に伴	に白井のブラネ 26回 来館者 満足)と回答した う改善項目	・タリウム館開 数16,301人 割合)	1 R5 (202	写年を迎 見覧満足 そ	1 度 の他i	ためイ 97% 改善項	ベン(※投	トを1	全画し 野後の (千F	カア
改取 3	5年度 組状況 7善策 組状況 コスト 支費計 55会計年	ドイツでブ 行った。ま 準備を行っ ンケートで、 (Do2)	た、令和6年度 た。投映回数5点 おもしろい(流 前年度評価に伴	に白井のブラネ 26回 来館者 満足)と回答した う改善項目	タリウム館開 数16,301人 割合)	1 R5 (202	9年を迎 見覧満足 そ 23) 年度決調	1 度 の他i	ためイ 97% 改善項	ベン(※投	トを1	全画し 野後の (千F	のア
改取 3 事業	5年度組状況 Z善策組状況 コスト 変費計 うち会計年 国県支	ドイツでブ 行った。ま 準備を行っ ンケートで、 (Do2) る A F&EE用職員等経費	た、令和6年度 た。投映回数5 おもしろい(流 前年度評価に伴 11,704	に白井のプラネ 26回 来館者 場定)と回答した う改善項目 11,839	タリウム館開 数16,301人 割合) R5 (2023) 年度当初到 12,693	i R5 (20)	写年を迎見覧満足 見覧満足 そ 23) 年度決 12,593	i R6 (28)	ためイ 97% 改善項 14,3	ベン (※括 目 551	トを1	全画し 関覧後の (干F 0225) 年 8,4	カア カア gha 193
改取 3	5年度 組状況 Z善策 組状況 コスト 達費計 うち会計年支 国県益	ドイツでブラウス (Do2) (CDo2) A REEH 職員等経費 は出金 i負担 B	た、令和6年度 た。投映回数5点 おもしろい(流 前年度評価に伴	に白井のブラネ 26回 来館者 満足)と回答した う改善項目	タリウム館開 数16,301人 割合)	i R5 (20)	9年を迎 見覧満足 そ 23) 年度決調	i R6 (28)	ためイ 97% 改善項	ベン (※括 目 551	トを1	全画し 関覧後の (干F 0225) 年 8,4	カア カア gha 193
RS 取	5年度 組状況 連続 連続 を 連続 を 連続 を を を を を を を を を を を を	ドイツです。 行った。また 準備を行った。 ンケートで、 (Do2) 公分 A 藤庭田開闢員等経費 法出金 負担 B	た、令和6年度 た。投映回数5 おもしろい(流 前年度評価に伴 11,704	に白井のプラネ 26回 来館者 場定)と回答した う改善項目 11,839	タリウム館開 数16,301人 割合) R5 (2023) 年度当初到 12,693	i R5 (20)	写年を迎見覧満足 見覧満足 そ 23) 年度決 12,593	i R6 (28)	ためイ 97% 改善項 14,3	ベン (※括 目 551	トを1	全画し 関覧後の (干F 0225) 年 8,4	カア カア gha 193
RS 取納	5年度 組状況 型善状況 コストを 費計 55会計年 国益方の他 その他	ドイツでブー 行った。ま 準備を行っ ンケートで、 (Do2) 3分 A 藤庭田開願与等経費 記出金 i負担 B	た、令和6年度 た。投映回数5, おもしろい(流 前年度評価に伴 R3 (2021) 年度決算 11,704	に白井のプラネ 26回 来館者 続足)と回答した う改善項目 R4 (2022) 年度決算 11,839	タリウム館開 数16,301人 割合) R5 (2023) 年度当初予 12,693	能3O原 投映 8 R5 (20)	明年を迎 現覧満足 そ 23) 年度決 12,593	2.える の他i 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	ためイ 97% 改善項 14,3 2,3	ベン (※挌 目 51	トを1	全画し 関覧後の (千F の25) 年 8,4	ツア 型) 度計画 193
RS 取	5年以 で	ドイツでブラー	た、令和6年度 た。投映回数5. おもしろい(流 前年度評価に伴 11,704 1,854	に白井のプラネ 26回 来館者 場定)と回答した う改善項目 11,839 2,411	タリウム館開 数16,301人 割合) Rs (2023) 年度当初79 12,693 2,000	R5 (20)	明年を迎 現覧満足 そ 233 年度決 12,593 2,514	2.える の他i	ためイ 97% 改善項 14,3 2,3	ベン (※投 (※ (※ (※ (※ (※ (※ ()))) ()) ()) ()) ()) ()) ()) ()) ()) (トを1	全画し (千戸 8,44 2,0	円 のア 型) 度計画 193 193
RS 取	万組 (ドイツでブライン (Do2) (A) (Do2) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	た、令和6年度 た。投映回数5. おもしろい(流 前年度評価に伴 11,704 1,854 9,850 1,80	に白井のプラネ 26回 来館者 場定)と回答した う改善項目 11,839 2,411 9,428 1.80	タリウム館開 数16,301人 割合) R5 (2023) 年度当初寿 12,693 2,000 10,693 1,80	R5 (202	明年を迎 現覧満足 そ 23) 年度決 12,593 2,514 10,079 1,80	2. 元 る の 他 i	ためイ 97% 改善項 14,3 2,3	ベン (※技 (※技 (※方 (※方 (※方 (※方 (※方 ())) ()) ()) ()) ()) ()) ()) ()) ()) ()	トを1	(千F) (千F) 8,44 2,C	ツア 型) RR計画 は93 193 193 193 180
RS 取	5年度 組状況 「本語」 「本語」 「本語」 「本語」 「本語」 「本語」 「本語」 「本語」	ドイツでブライン (Do2) (Do2) (A FEETH	た、令和6年度 た。投映回数5 た。投映回数5 た。投映回数5 た。投映回数5 た。投映回数5 11年度評価に伴 11,704 1,854 9,850 1,80 12,105	に白井のプラネ 26回 来館者 場定)と回答した う改善項目 11,839 2,411 9,428 1,80 12,586	タリウム館開 数16,301人 割合) R5 (2023) 年度当初列 12,693 1,800 12,611	R5 (202	明年を迎 現覧満足 そ 233 年度期 12,593 12,593 1,800 1,800 13,315	の他i	ためイ 97% 改善項 14,3 2,3 12,0 1,3,1	ベン (※接 目 551 000 551 80 78	トを1	全画 (千斤 8,44 2,C 6,44 13,1	円) (株) (株) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4
R 取 改	5年度沢 (善無) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語	ドイツです。 行った。 では構を行った。 ンケートで、 (Do2) 公分 A 度は用職員等経費 : は出金 : 負担 B : ・ (人数 人件費 C D)	た、令和6年度 た。投映回数5 た。投映回数5 た。投映回数5 た。投映回数5 た。投映回数5 11,704 11,704 11,854 9,850 12,105 23,809	に白井のプラネ 26回 来館者 場定)と回答した う改善項目 R4 (2022) 年度決算 11,839 2,411 9,428 1,80 12,586 24,425	タリウム館開 数16,301人 割合) R5 (2023) 年度当初到 12,693 1,693 1,80 12,611 25,304	RS (202	明年を迎 関 第 第 一 そ 233 年度期 12,593 12,593 1,80	- の他i の他i の	ためイ 97% 改善項 14,3 2,3 12,0 1,13,1 27,5	ベン (※接替 551 551 80 78 29	トを1	全画 (千下 (千下 8,4 2,0 6,4 1 13,1,2 21,6	円) (株) (4) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7
R 取 改	5年度沢 (善無) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語	ドイツでブライン (Do2) (Do2) (A FEETH	た、令和6年度 た。投映回数5 た。投映回数5 た。投映回数5 た。投映回数5 た。投映回数5 11年度評価に伴 11,704 1,854 9,850 1,80 12,105	に白井のプラネ 26回 来館者 場定)と回答した う改善項目 11,839 2,411 9,428 1,80 12,586	タリウム館開 数16,301人 割合) R5 (2023) 年度当初列 12,693 1,800 12,611	RS (20) RS (20) 1	明年を迎 現覧満足 そ 233 年度期 12,593 12,593 1,800 1,800 13,315	の他i の他i	ためイ 97% 改善項 14,3 2,3 12,0 1,3,1	ベン (※接 目 551 600 78 80 78 29	トを1	全画 (千斤 8,44 2,C 6,44 13,1	円) (株) (4) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7

事業コード Ⅳ - 2 - -3 - ①

7.79

9.87

7.90

9.70

8.35

9.23

受益者負担率B/D(%)

4 指標の推移(Check①)

評価対象年度	R 5 (2023)年度
--------	--------------

<u> </u>	指標の推修(UNECKU)									
	指標名	単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の)説明
	来館者数	,	目標	18,000	20,000	20,000	20,000	20,000		十二十二 ・
1	水阳日 数		実績	13,334	17,383	16,301			プラネタリウ 加した人数	ム事業に変
1	種別 成果指標 分類		達成率	74.1	86.9	81.5	-	-	35 0 7 2 7 1 3 1	
	指標1単位当たりコスト	(千円	3)	1.8	1.4	1.6	-	-	コスト効率	低下
	投映観覧満足度	%	目標	90	90	90	90	90	投映観覧後の	アンケート
2		/0	実績	98	99	97			で、おもしろ	い(満足)と
(2)	種別 成果指標 分類		達成率	108.9	110.0	107.8	-	-	回答した割合	
	指標1単位当たりコスト	(千円	3)	242.9	246.7	267.1	-	-	コスト効率	低下

ı	5	事業の評価(Check②)		
1		項目	評価	評価の理由・課題
ł		事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	小さな子どもや妊婦、高齢者など幅広い 市民が等しく、継続的に天文に親しみ、
	必要	市が関与する必要性	計画時と変わらない	学ぶ機会を得るには、身近な施設で様々な事業を展開する必要がある。
1	性	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
		実施主体	市が実施主体となる必要がある	
		対象の範囲	適切である	各ライフステージに応じた様々な事業を
	有効	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	行い、幅広い年代に生涯学習、学校教育 の場を提供している。
	性	達成度	目標を達成している	
1		上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
		実施手法・運営主体	適切に設定されている	職員による、白井独自の特色ある事業を
	効率	受益者負担	適切である	展開している。
1	性	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
Ī		業務プロセス(進め方・手続き)	適切に進められている	
		施策内		
		議での		
i	ļ	意見等		

6 今後の方向性 (Action)

0 2 10000001	2 1 —	(7 (01011)				
		改善して継続 ■ 現状のまま継続 □	休廃止 (年度) 口 終了	(年度)
		□対象の再設定	(実施時期:		年	月)
		□ 事業・サービス水準の見直し	(実施時期:		年	月)
		□ 他事業との連携・統合	(実施時期:		年	月)
事業の		□ 業務プロセスの改善(スケジュール等)	(実施時期:		年	月)
方向性	L	□ 民間委託を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
	· 1	□ 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
		□ 受益者負担の見直し	(実施時期:		年	月)
		□ 特定財源の見直し	(実施時期:		年	月)
		口 その他	(実施時期:		年	月)
改善内容等						
改善により期						
待される効果						

1	事業権	號要(Plan)												
事	業名	総合型地:	域スポー	-ツクラフ	で支援事業					ード	IV	- 3	- (1	l) –	1
SI	DG s	4 50exes							事業種	別 (強靭化 ^は ・ひと・			給戦略
求め	る成果	中别	⇒住み 成果 地	♪慣れた比 対に様々	で地域を守り、 地域で安心して な活動の場が スポーツを通じ	暮らし続 増え、地	けられ 域コミ	いるま? ミュニラ	ちになる ティが活	る。 5 5性化	づる	0			
国土強	鐵靭化計画														
	フシナリオ										ı				
	業期間	平成15(20	003) 年度	~ 令	和7(2025)年度	Ę.	会	計	一般	款	9	項	5	目	1
担	当課	生涯学	望課 主	管課等長	西口 武雄	予算科		計		款		項			
関	係課						_	計		款		項			
	業内容 対象		住民によ	る自主的)までもスポー)で自立したク ブ・声目				ポーツの	り拠点	えとな	:るス7	ポーツ	ソクラ	ップ
	<u> </u>			<u>フラフラ</u>] 全部委		B委託	□補	助金領	手 ■	協	働		その)他	
計画	期間中な取組	・スポー	地域スポ	ペーツ活動	助場所の確保【 養成支援【R3	R3 (2	022	2) 年月	隻~R⁻	7 (2	202	5) 1	丰度】		
2	田口本日小	大況(Do①))												
	5年度 組状況	総合型地域ス総合型地域スの広報しろい。配布するチョ	スポーツク: や市HPで ラシでの入ま	ラブの紹介や の活動紹介。 会案内掲載等		ルサイネー)	ジや庁舎	き内での			建康診		果が良く	くないに	市民へ
	(善策 組状況														
3		(Do2)			T								T /		F円)
# #		区分			R4(2022)年度決算	R5 (2023) ±		R5 (20)	23) 年度決		(2024) 年	29		2025)	
事 录 :	費計		Α	16	1		53			1		28	,		29
		年度任用職員等紹	質												
	国県支														
財源	受益者		В												
内	地方侵														
訳	その化														
	一般則			16	1		53			1		29	_		29
正贈	ta l	人数		0.10	0.10		0.10		0.10	O		0.10)		0.10
		人件費	С	673	699		701		740	О		732	2		732
総二	コストロ)=A+C	D	689	700		754		74	1		761			761
うちん	人件費(I	E職員+会計年度	()	673	699		701		740)		732	2		732
市民	1人コス	トD/人口(円)	10.97	11.17	1	2.02		11.88	3	1	2.20)		
受益	者負担	<u>国率B/D(</u> 9			-1 - ①										

4 指標の推移 (Check①)

評価対象年度 R 5 (2023)年度

_	+ JEISONERS (CITECKT)									
	指標名	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の	の説明		
1	活動を支援しているクラ	団体	目標	5	5	5	5	5	٠\\\ _ = المالية	7# WA=
	ノ数		実績	5	5	5			総合型地域プグ数	ベルーツグラ
	種別 活動指標 分類		達成率	100.0	100.0	100.0	ı	ı	- 20.	
	指標1単位当たりコスト(千円	3)	137.7	140.0	148.1	ı	ı	コスト効率	低下
	クラブ登録者数	۲	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
C		^	実績	768	776	794			クラブ会員の	の人数
2	種別 成果指標 分類	種別 成果指標 分類				79.4	-	-		
	指標1単位当たりコスト(3)	0.9	0.9	0.9	-	-	コスト効率	低下	

5 事業の評価 (Check2)

	項目	評価	評価の理由・課題
		計画時と変わらない	定期的な活動をするために市は活動場所
必要		計画時と変わらない	を確保する必要がある。 幅広い世代の会員がスポーツを楽しめる
性		小さい	よう、多種多様な種目や環境を提供す
	実施主体	他団体が実施している	ేం.
	. 0.01 - 10-	適切である	指導者の高齢化により活動が困難となる ことが予想されるため、各クラブと連携
有交		目標の達成に向けた取組を行っている	し、PR活動による指導者確保をする必
性		目標に近づいている	要がある。
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
	実施手法•運営主体	適切に設定されている	昨年度より会員は増加しているが、引き
交叉		適切である	続き会員の増加に向け、クラブ主催のイ ベントや広報などでのPR活動を行う必
率性		コストを抑え適切な水準で進められている	要がある。
	業務プロセス(進め方・手続き)	適切に進められている	
	施策内 若い世代が利用して	こいる情報伝達手段を用いて、クラブに	こ入会しやすい環境を整えるとともに、

6 今後の方向性(Action)

	□ 改善して継続 ■ 現状のまま継続 □	休廃止 (年度) 🛮 終了	(年度)
	□対象の再設定	(実施時期:		年	月)
	□ 事業・サービス水準の見直し	(実施時期:		年	月)
	□ 他事業との連携・統合	(実施時期:		年	月)
事業の	□ 業務プロセスの改善(スケジュール等)	(実施時期:		年	月)
方向性	□ 民間委託を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
	□ 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
	□ 受益者負担の見直し	(実施時期:		年	月)
	□ 特定財源の見直し	(実施時期:		年	月)
	口 その他	(実施時期:		年	月)
改善内容等					
改善により期					
待される効果					

評価対象年度	R 5 (2023)年度	
--------	--------------	--

		13		1/2 (2		ル ノ 于 5	ンチベ	U I IW	_						
1 事業概	要(Plan)														
事業名	各種スポー	ツ大会	開催	事業						ード	IV	- 3	- (1) –	2
SDGs	4 5060645					事		事業種別		国土	強靭化均	也域計画	İ		
SDG's									**1±	פכל	まち	・ひと	・しごと	創生総	合戦略
	長期成果														
求める成果															
3.43 3/////	中期以	中期成果													
	短期成果 短期成果														
国土強靭化計画															
ノスクシナリオ						·									
事業期間			>	R7(20	25)年度		会計	—— 舶	ر ک	款	9	項	5	目	1

各種スポーツ大会を開催する 事業内容

生涯学習課 主管課等長 西口 武雄

対象 市民、その他 手法 口 直営 □ 全部委託 □ 一部委託 ■ 補助金等

各種スポーツ大会を開催する

計画期間中 各市民大会(17競技、参加者は不明)、梨マラソン大会(参加者2541人)、印旛郡市民スポー の主な取組 ツ大会(選手305人)、印旛郡市駅伝競走大会(選手16人)の実施

予算科目 会計

会計

款

款

項

項

□ その他

2 取組状況 (Do1)

担当課

関係課

各種スポーツ大会を開催できた。 各市民大会、梨マラソン大会、印旛郡市民スポーツ大会、印旛郡市駅伝競走大会の実施 R5年度 取組状況 前年度評価に伴う改善項目 その他改善項目 改善策 取組状況

3	コス	/						(千円)
	[区分	R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度当初予算	R5 (2023) 年度決算	R6(2024)年度当初予算	R7 (2025) 年度計画
事第	事業費計 A		317	2,817	3,518	2,953	3,592	3,592
Ī	うち会計	年度任用職員等経費						
	国県ス	支出金						
財	受益者	皆負担 B						
源内	地方價	į						
内訳	その作	<u>t</u>						
	一般則	才源	317	2,817	3,518	2,953	3,592	3,592
正服	#1日	人数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
шл	以只	人件費 C	6,725	6,992	7,006	7,397	7,321	7,321
総二	コスト[D=A+C D	7,042	9,809	10,524	10,350	10,913	10,913
うち人件費(正職員+会計年度)			6,725	6,992	7,006	7,397	7,321	7,321
市民1人コストD/人口(円)			112,23	156.46	167.87	165.96	174.99	
受益	益者負担	旦率B/D (%)						

事業コード Ⅳ - 3 - -1 - ②

4 指標の推移 (Check①)

 \blacksquare

+	+ 指標の推移(Checku)												
	指標名 単位 区分						R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の	の説明
						目標							
1						実績							
	種別		分類			達成率	-	-	1	-	1		
	指標1単位当たりコスト(千円)						ı	ı	ı	-	ı	コスト効率	-
						目標							
2				実績									
(2)	種別		分類			達成率	-	-	-	-	-		
	指標1	指標1単位当たりコスト(千円)					1	ı	ı	-	1	コスト効率	-

5	事業の評価(Check②)		
	項目	評価	評価の理由・課題
	事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	各種大会を実施するにあたっては各種 スポーツ団体と連携協力することが必
必要	市が関与する必要性	計画時と変わらない	要不可欠である。
性	市民生活・地域社会への影響度	小さい	幅広い世代の方々がスポーツを楽しめ るよう各種大会は実施する必要があ
	実施主体	他団体が実施している	る。
	対象の範囲	適切である	各種大会を実施することにより、幅広
有効	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	い世代の方々の健康や体力が増進され るとともにスポーツの普及・振興が図
性	達成度	目標に近づいている	られた。
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
	実施手法•運営主体	適切に設定されている	各種大会を実施するうえで効率的に事
効率	受益者負担	適切である	務を実施している。
性	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス(進め方・手続き)	適切に進められている	
	施策内 議議での		

C 今後の方向性 (A ations)

	6 今後の方向	回性	(Action)				
ſ		P	改善して継続 ■ 現状のまま継続 □	休廃止 (年度) 🗆 終]	7 (年度)
			□対象の再設定	(実施時期:		年	月)
			□ 事業・サービス水準の見直し	(実施時期:		年	月)
			□ 他事業との連携・統合	(実施時期:		年	月)
	事業の		□ 業務プロセスの改善(スケジュール等)	(実施時期:		年	月)
	方向性	╽┕	□ 民間委託を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
ı		_	ロ 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
			ロ 受益者負担の見直し	(実施時期:		年	月)
			ロ 特定財源の見直し	(実施時期:		年	月)
			口 その他	(実施時期:		年	月)
	改善内容等						
	改善により期 待される効果						

評価対象年度	R	5	(2023) 年度

1 事業概	腰(Plan)
事業名	文化を支える人材育成支援事業

SDGs		4 50000000			ļ	事業種別	国土強靭化地	域計画							
JI	Jus					尹未任)		しごと創生総合戦略							
		長期成果	!	-		•									
求め	る成果	▶中期成	里												
		■ 対 短期成果													
	鰤化計画														
	ジナリオ	H23(201	1)年度 ~ R	7(2025)年度		会計 一般	款 9 項	4 目 1							
	表別(回) 当課	生涯学習語		西口 武雄	⊢	会計 一般 全計	款 9 項 款 項	4 目 1							
	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	土涯子首部	土官跡守区	EGI TEMBE		ス市 会計	款項	B B							
		市民で組織	た白土市文化	が団体協議会の			以 以								
事	業内容			19年1998日の	山到在又汲り	್≎									
	対象	白井市文化													
	手法	□ 直営	□ 全部委				_ 協働 □ □への支援(人材	その他							
	期間中						アルス版(入れ ~R7(2025)								
の主	を取組														
2	取組划	t況 (Do①)													
				よる文化の情報:				,							
R	5年度		ートフェスタ2 ーチ36件実施		/18、灯籠2	2630人作成	1000人来場	(1)							
取約	組状況		紙ひこうき」乳												
		À	前年度評価に伴	台改善項目		7	の他改善項目								
	善策	13	IS TATILIZED TO WORLD												
取約	組状況														
3	コスト	(Do2)						(千円)							
		X分	R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度当初予算	R5 (2023) 年度決算	R6(2024)年度当初予算	R7 (2025) 年度計画							
事業	養計	А	133	572	1,104	405	1,104	1,104							
	うち会計年	F度任用職員等経費													
	支県国	出金													
財源	受益者	負担 B													
源内	地方債	Ī													
訳	その他	}													
	一般財	源	133	572	1,104	405	1,104	1,104							
正賠	# =	人数	0.20	0.20	0,20	0.20	0.20	0.20							
TT #6	, id	人件費 C	1,345	1,398	1,401	1,479	1,464	1,464							
総二	コストロ	=A+C D	1,478	1,970	2,505	1,884	2,568	2,568							
うちん	人件費(正	職員+会計年度)	1,345	1,398	1,401	1,479	1,464	1,464							
市民	1人コス	トD/人口 (円)	23.56	31.43	39.96	30.22	41.18								
受益	益者負担	国率B/D (%)													
			W7 4	4 🗇											

4 指標の推移(Check①)

コード IV - 4 - (1) - ①

	4	担信の推修し	OI IEC	$\mathcal{N}\cup\mathcal{I}$									
Ī		指標名			単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標(の説明
1						目標							
1	1					実績							
	0	種別	分類			達成率	-	-	-	1	-		
-		指標1単位当た	=りコ	スト	(千円	3)	-	-	-	-	-	コスト効率	-
						目標							
	2					実績							
-	۷	種別	分類			達成率	-	-	-	-	-		
ı		指標1単位当たりコスト(千円)				3)	-	-	ı	ı	ı	コスト効率	-

	5	事業の評価(Check②)						
ł		項目	評価	評価の理由・課題				
+		事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	市の文化振興を図る上で、市の文化・				
	必要	市が関与する必要性	計画時と変わらない	→芸術を支える組織として設立された白 」井市文化団体協議会との連携・協働・				
	性	市民生活・地域社会への影響度	小さい	支援は妥当である。				
		実施主体	市が実施主体となる必要がある					
		対象の範囲	適切である	白井市文化団体協議会への支援を通し て市民の自主的な文化芸術活動創造と				
	有効	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	発展による地域文化振興が図られてお				
	性	達成度	目標に近づいている	り、有効性は高い。				
Ī		上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している					
		実施手法・運営主体	適切に設定されている	市の文化振興を市ではなく文化団体が				
	効率	受益者負担	適切である	自主的に行うことで、効率的に進められている。				
	性	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている					
		業務プロセス(進め方・手続き)	適切に進められている					
		施策内 議での						

6 今後の方向性(Action)

_	0 7 (207) 51.	<u> </u>	(· · · ·)						
ı			改善して継続 ■ 現状のまま継続 □	休廃止	(年度) 🗆	終了	(年度)
1			□ 対象の再設定	((実施時期:			年	月)
4			□ 事業・サービス水準の見直し	(実施時期:			年	月)
ı			□ 他事業との連携・統合	(実施時期:			年	月)
1	事業の		□ 業務プロセスの改善(スケジュール等)	Ċ	実施時期:			年	月)
4	方向性	Ш	□ 民間委託を導入・拡大	,	実施時期:			年	月)
ı	751512	7	□ 市民等との協働を導入・拡大		実施時期:			年	月)
			□ 受益者負担の見直し		実施時期:			年	月)
+			□ 特定財源の見直し		実施時期:			年	月)
1			日での他		実施時期:			年	月)
- [□ .500lB	(天心时期・			+	D)
1									
4	改善内容等								
1									
7									
1	改善により期								
1	待される効果								

評価対象年度	R	5	(2023)	年度
--------	---	---	--------	----

1 事業概	腰(Plan)
事業名	市民文化祭開催事業

QI	DGs	4 ROANGHE					事業種別	国土強靭	化地域計画	Ð		
0	Das				ļ		尹未追り	まち・ひる	こ・しごと	:創生総合	戦略	
		長期成果		•	-		•					
求め	る成果	中期风										
		短期	朋成果									
	蛍靭化計画 フシナリオ											
	業期間	S31(1956	。 ○)年度 ~ R	7(2025)年度	一般	款 9 項	4	B	1			
_	当課	生涯学習調		西口 武雄	予算科目	会計		款項	į		•	
関	係課					会計		款 項	į	B		
事	業内容			見び児童・生 で付して市民と					部門は、	市民	文化	
- 3	対象	市民・文化		いということに		子权副	リは回名し	天 心。				
	手法	■ 直営	□ 全部委			■補助釒		協働	ロ その	D他		
計画	白井市民文化祭の開催【R4(2022)年度~R7(2025)年度】 計画期間中											
	D主な取組 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
2												
	第66回白井市民文化祭の開催											
R	5年度		5年11月2日 市文化センター	3~11月26 -								
取	組状況	参加人数:										
		È	前年度評価に伴	う改善項目			その	の他改善項目	1			
	善策											
取	組状況											
3		(Do2)								(千)	٠,	
		<u>区分</u>		R4(2022)年度決算				R6 (2024) 年度当初	_	2025)年		
事 身	養計	Α	1,947	2,392	2,4	52	2,410	2,45) (2,6	500	
		年度任用職員等経費										
財	支県国 幸益受											
源	地方價											
内	地力でその作			917	1,0	00	1,090	1,00	20			
訳	一般則		1,947	1,475	1,3		1,320	1,45		26	500	
	NX X	人数	0.20	0.20	-	20	0.20	0.2	_		20	
正職	戦員	人件費 C	1,345	1,398	1,4		1,479	1,46			164	
総二	コストロ)=A+C D	3,292	3,790	3,8		3,889	3,92			064	
		職員+会計年度)	1,345	1,398	1,4	_	1,479	1,46	_		164	
市民	1人コス	トD/人口 (円)	52.47	60.46	61.	_	62.37	62.8				
		旦率B/D (%)			,	-				•		
			I	I				1				

▥ン	$ \vdash$	•													₹	個刈家年	夏 R	5 (202	23) 年度
							4	指標	の推移(Check1)				•		•		
	コード	IV	- 4	- (1) –	2			指標名		単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の	り説明
		国土	強靭化地	也域計画	j		白井市民文化祭来場・				,	目標	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	市民文化祭名	子部門(一
事業種	11月					was a fa	<u>a</u>	閲覧者数				実績	9,658	10,353	9,612			般部門•学村	
ま		まり	・ひと・しごと創生総合戦略		(1)	種別 分類			達成率	113.6	121.8	113.1	-	1	来観者数の合計値				
							指標1	単位当な	こりコスト	(千円	9)	0.3	0.4	0.4	-	-	コスト効率	低下	
												目標							
												実績							
					2	種別		分類	1	達成率	-	-	-	-	-				
一般	款	9	項	4	Ħ	1		指標1単位当たりコスト			(千円	9)	-	-	-	-	-	コスト効率	-
13.0	JV		-	т			_												

5 東業の証価 (Chook②)

	5	事業の評価(Check②)					
1		項目	評価	評価の理由・課題			
ł		事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	市民文化祭の目的は市の文化芸術の振			
	必要	市が関与する必要性	計画時と変わらない	→興であり、文化祭により市民に向けて _ 情報発信することは文化芸術の振興の 上で必要である。			
	性	市民生活・地域社会への影響度	小さい				
1		実施主体	市が実施主体となる必要がある				
		対象の範囲	適切である	文化祭として多彩な行事を行うこと			
	有効	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	は、文化振興のための情報発信を行う上で有効である。			
	性	達成度	目標に近づいている				
Ī		上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している				
		実施手法•運営主体	適切に設定されている	事業仕分けを受け平成26年度より実			
	効率	受益者負担	適切である	行委員会による運営に移行したこと で、市の負担は減少しており、効率性			
	性	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	は高い。			
		業務プロセス(進め方・手続き)	適切に進められている				
		施策内 議での					

6 今後の方向性(Action)

1		П	改善して継続 ■ 現状のまま継続 □	休廃止	(年度) 🗆	終了	(年度)
1			□ 対象の再設定		(実施時期:			年	月)
4			□ 事業・サービス水準の見直し		(実施時期:			年	月)
			□ 他事業との連携・統合		(実施時期:			年	月)
	事業の		□ 業務プロセスの改善(スケジュール等)		(実施時期:			年	月)
1	方向性	╽┕	□ 民間委託を導入・拡大		(実施時期:			年	月)
4		_	□ 市民等との協働を導入・拡大		(実施時期:			年	月)
)			ロ 受益者負担の見直し		(実施時期:			年	月)
)			□ 特定財源の見直し		(実施時期:			年	月)
1			□ その他		(実施時期:			年	月)
4									
1	改善内容等								
ŀ									
1									
1	改善により期								
1	待される効果								

評価対象年度	R	5	(2023) 年度
--------	---	---	-------------

1	事業限	既要(Plan)												
事	業名	文化会館管理	理運営事業				-ド W - 4	- (2) - ①						
		4 SAME				- W/77.0	国土強靭化地	域計画						
SI	DGs				Ì	事業種別		しごと創生総合戦略						
		5 H2 N 5	<u> </u>	<u> </u>	<u>i</u>									
stò xt	る成果	長期成果												
3/02	NO IN THE	中期队	- 1 -											
国十年	鐵羽化計画	短期	明以来											
	フシナリオ													
事	業期間	H6(1994)年度 ~ R	7(2025)年度	Ê	計一般	款 9 項	4 目 9						
担	当課	文化センタ	一 主管課等長	髙花 宏行	予算科目 会	計	款 項	B						
関	係課				Ê	計	款項	B						
		文化会館の緞帳、反響版、せり等の舞台設備、マイク、スピーカー、ミギサー等の音響設備及び舞台を照らすライト等の照明設備、舞台備品、ピアノ等の楽器の維持管理やホールの貸出業務を行												
争	業内容	古を照り9つ	フィト寺の照明	設備、舞台偏向	品、ヒアノ寺の	(条命の維持官は	別のルールの負	出業務を行						
対象 市民														
-	手法	■ 直営	□ 全部委					その他						
計画	期間中		文化会館なし坊ホール(大ホール)、かおりホール(中ホール)の貸出及び舞台設備及び音響設備 並びに舞台備品の貸し出しを行う。											
の主な取組														
2	田口名日小	大況 (Do①)												
Ĺ	HA IIII 1	大ホール利用。	人数 42,991人											
R	5年度	・中小ール利用・付帯設備利用	人数 12,865人 件数 158件											
取給	組状況													
		Ē	前年度評価に伴	う改善項目		そ(の他改善項目							
恕	善策	10 100 100 100 100 100 100 100 100 100												
取約	組状況													
3	コスト	(Do2)						(千円)						
Ĺ		区分 区分	R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度当初予算	R5 (2023) 年度決算	R6(2024)年度当初予算	R7 (2025) 年度計画						
事業	養計	А	22,469	25,962	25,840	24,606	34,372	26,430						
	うち会計	年度任用職員等経費												
	支県国	出金												
財	W++	負担 B												
	受益者	9 貝担 B												
源内	地方信													
源内訳			14,500	15,431	14,500	14,500	17,477	14,500						
内	地方信	 也	14,500 7,969	15,431 10,531	14,500 11,340	14,500 10,106	17,477 16,895	14,500 11,930						
内訳	地方債その化一般則	 也		· ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	The state of the s	· ·							
内	地方債その化一般則	地	7,969	10,531	11,340	10,106	16,895	11,930						
内訳正職	地方信その化一般則	b 対源 人数	7,969 3.00	10,531	11,340 3.00	10,106	16,895 3,00	11,930 3.00						
内訳正職	地方信 その化 一般則 職員	5 5 5 7 7 7 7 7 8 7 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	7,969 3,00 20,175	10,531 3,00 20,976	11,340 3,00 21,018	10,106 3,00 22,191	16,895 3,00 21,963	11,930 3,00 21,963						

事業コード Ⅳ - 4 - -2 - ①

受益者負担率B/D(%)

4 指標の推移 (Check①)

_	_	1日信い7EMタ (CITECK								
		指標名	単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の説明
				目標						
(1)			実績						
	IJ	種別 分類		達成率	-	-	ı	ı	Ī	
		指標1単位当たりコス	ト (千円	3)	-	-	-	-	-	コスト効率 -
				目標						
0	2)			実績						
0	9)	種別 分類		達成率	-	-	ı	ı	Ī	
		指標1単位当たりコス	上(千円	3)	-	-	_	-	_	コスト効率 -

	5	事業の評価(Check2)		
ı		項目	評価	評価の理由・課題
-		事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	市が実施主体となり、市民に芸術活動の発表の場を提供するため、ホールの貸し出しや、舞台設備
	必要	市が関与する必要性	計画時と変わらない	及び音響設備及び舞台備品の貸し出しを、コロナが5類となったことから、通常時以上の利用者数で貸し出すことができた。今後も利用者数の更な
l	性	市民生活・地域社会への影響度	大きい	る向上が課題である。
ł		実施主体	市が実施主体となる必要がある	
		対象の範囲	適切である	舞台芸術活動の発表の場を提供するため
	有効	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	に、会館の設備等の貸し出しを通じて、 会館の核となる施策のうちの一つである
	性	達成度	目標を達成している	本事業を実現することができたため。
		上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
		実施手法•運営主体	適切に設定されている	R6.1月に、照明設備に不具合が生じ舞台運営に影響が生じたため、利用団体と相談の上、舞台演出に影響
	効率	受益者負担	求めることができない	のない範囲で照明設備を利用していただいた。 なお、照明設備の修繕については、R5年度内の補正
l	性	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
		業務プロセス(進め方・手続き)	適切に進められている	FICH E O CAMING OCCCOR.
	会	施策内議での		

6 会後の方向性 (Action)

ひ フはいカド	エドリ	(ACTION)				
		改善して継続 ■ 現状のまま継続 □	休廃止 (年度) 口 終了	(年度)
		□対象の再設定	(実施時期:		年	月)
		□ 事業・サービス水準の見直し	(実施時期:		年	月)
		□ 他事業との連携・統合	(実施時期:		年	月)
事業の		□ 業務プロセスの改善(スケジュール等)	(実施時期:		年	月)
方向性	L	□ 民間委託を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
	7	□ 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
		□ 受益者負担の見直し	(実施時期:		年	月)
		□ 特定財源の見直し	(実施時期:		年	月)
		□ その他	(実施時期:		年	月)
改善内容等						
\$1303						
改善により期						
待される効果						

会計

会計

予算科目 会計

款

款

款

その他改善項目

評価対象年度	R	5	(2023)	年度
--------	---	---	--------	----

1 事業概	要(Plan)									
事業名	文化会館自	主事業運営事	業		コー	۲	W - 4	1 -	(2) -	- 2
SDGs	4 SAME	i !			事業種別		国土強靭化	比地域計	t li	-
SDUS					尹未怪川		まち・ひと	こ・しご	と創生組	総合戦略

長期成果 求める成果 中期成果

₩短期成果 国土強靭化計画 リスクシナリオ

事業期間 H6(1994)年度 ~ R7(2025)年度 文化センター 主管課等長 髙花 宏行 担当課 関係課

クラシック、演劇、古典芸能等の催し物を開催し、市民に舞台芸術に触れてもらう機会を提供す 事業内容 対象 市民

手法 □ 全部委託 ■ 一部委託 □ 補助金等 □ 協働 ■ 直営 演劇、演歌、ポピュラーミュージック、クラシックコンサートや古典芸能など、優れた舞台芸術を 計画期間中 鑑賞する機会を提供する。 の主な取組

2 取組状況 (Do1)

・千葉県警察音楽隊安全・安心コンサート2023 来場者数612人 R5年度 ・ 令和5年度千葉県民芸術劇場公演「名曲コンサートinしろい」来場者数443人 取組状況

前年度評価に伴う改善項目 改善策 行政が行う必要性について、引き続き検討を続

取組状況 ける。

3 コスト(Do2)

区分			R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5 (2023) 年度当初予算	R5 (2023) 年度決算	R6 (2024) 年度当初予算	R7(2025)年度計画
事業	養計	А	956	1,783	3,973	3,690	2,408	2,763
-	うち会計	年度任用職員等経費						
	国県支	支出金			1,546	1,546		
財	受益を	背負担 B	671	765	1,855	1,289	1,987	1,383
源内	地方侧	ŧ						
訳	その作	也						
	一般則	 財源	285	1,018	572	855	421	1,380
TE R	戦員	人数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
шп	以只	人件費 C	6,725	6,992	7,006	7,397	7,321	7,321
総 二	コスト[D=A+C D	7,681	8,775	10,979	11,087	9,729	10,084
うち人件費(正職員+会計年度)		6,725	6,992	7,006	7,397	7,321	7,321	
市民1人コストD/人口(円)		(下D/人口 (円)	122.42	139.97	175.12	177.78	156.00	
受益者負担率B/D (%)			8.74	8.72	16.90	11.63	20.42	13.71

事業コード Ⅳ - 4 - -2 - ②

4 指標の推移(Check(1))

項

項

項

	4 指標の推移(CheckU)												
I		指標名			単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の	の説明
Ī						目標							
I,	1					実績							
	<u> </u>	種別	分類			達成率	-	-	-	1	-		
l		指標1単位当たりコスト(千円)					-	-	-	ı	-	コスト効率	-
						目標							
ı	2					実績							
l	٧	種別	分類			達成率	-	-	-	-	-		
		指標1単位当たりコスト(千円)			9)	-	-	-	ı	-	コスト効率	-	

5 事業の評価(Check②)

		事業の評価 (Check2)		
		項目	評価	評価の理由・課題
		事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	市が実施主体となり、市民及び市外の
	必要	市が関与する必要性	計画時と変わらない	人にも舞台芸術に触れてもらう機会を 提供でき、公演後のアンケートによ
	性	市民生活・地域社会への影響度	小さい	り、ニーズの高まりを実感できた。
-		実施主体	市が実施主体となる必要がある	
-		対象の範囲	適切である	文化会館の自主事業は、様々なジャンルの舞台芸術を提供することができ、
	有効	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	会館の核となる施策を実現できたた
	性	達成度	目標を達成している	め。
		上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
		実施手法•運営主体	適切に設定されている	実施した2事業のうち、警察音楽隊のコンサートについては、出演料等のコストも抑えることができた。ま
	効率	受益者負担	適切である	た、千葉県民芸術劇場「名曲コンサートinしろい」に おいても、県の負担金を受け実施することができた
	性	事業・サービスの水準	改善の余地がある	が、自主事業については、市の財政を鑑みてさらなるコスト削減を目指す必要がある。
		業務プロセス(進め方・手続き)	適切に進められている	コスト門域を日泊す必要がある。
	1	施策内		

6 今後の方向性 (Action)

会議での

			改善して継続 □ 現状のまま継続 □	休廃止 (年度) 🗆 終了	(年度)
			□ 対象の再設定	(実施時期:		年	月)
			■ 事業・サービス水準の見直し	(実施時期:	R7(2025)	年	3 月)
3			□ 他事業との連携・統合	(実施時期:		年	月)
	事業の		□ 業務プロセスの改善(スケジュール等)	(実施時期:		年	月)
	方向性	حا ا	□ 民間委託を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
		^	□ 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
)			□ 受益者負担の見直し	(実施時期:		年	月)
)			□ 特定財源の見直し	(実施時期:		年	月)
			□ その他	(実施時期:		年	月)
4			比会館運営協議会での検討を踏まえ、関係	部署などとの協議を紹	Eて次期総合計	画に	向けて令
ŀ	改善内容等	和7	7年度末を目途に方向性を決定する。				
1		多万	方面からの意見を集約することにより、今	後の自主事業運営にて	かて、効果的	な運	営が期待
1	改善により期	でき	きる。				
	待される効果						

			令和6年	度(2024年	丰度)事務事	業評価シー	- -								₹	価対象年	度 R	5 (20)23)年度
		要(Plan)							4		多(Check①)	11=1						12.17	= =V==
事	業名	文化財保護	・周知事業				-ド W - 5	- (1) - ①		指標	第名 単		R3(2021)						の説明
S	DGs	4 30400ME	15 Restara 6	ļ		事業種別	□ 国土強靭化地	域計画		指定文化財	指定件数	目標 実績	48 48	48 48	48 48	49	50	国・県・市	指定文化財の
			<u></u>			3 3/(12/3		しごと創生総合戦略	1	種別	分類	達成率	100.0	100.0	100.0	-	-	合計数	
ال حال		長期成果								指標1単位	当たりコスト(千	円)	72.1	60.6	76.9	-	-	コスト効率	低下
₩Ø.	の以来	→ 中期成	课									目標							
			期成果						(2)			実績							
	強靭化計画 ワシナリオ	8-4 地域	X16							種別	分類	達成率	-	-	-	-	-		
_	業期間	S40(196	5)年度 ~ R	7 (2025)年度	Ê	計一般	款 9 項	4 目 1		指標1単位	当たりコスト(千	円)	-	-	=	-	-	コスト効率	_
担	当課	生涯学習	課 主管課等長	西口 武雄	予算科目 会	計	款項		5	5 事業の評価 (Check②)				=π/ x			=π/		985
艮	係課				Ê	語十	款 項			1	項目			評価		サルト		西の理由・誤	:選 :護法に基づく
事	業内容	文化財の説	明看板の設置な	パンフレット			-部を補助する こ、市民が文化		必		-ズ・実施意義 		と変わらな			もの	であり、扌		保護と活用も
	-12		化財講演会等を						要										
対象 指定文化財・指定文化財所有者・市民 手法 ■ 直営 □ 全部委託 ■ 一部委託 ■ 補助金等 ■ 協働 □ その他								その他	性		地域社会への影響度								
			保存事業補助金	党の交付【R3						実施主体		市が実	施主体とな	なる必要な	がある				
	説明看板の設置、パンフレットの刊行 計画期間中 [R3(2021)年度・R5(2023)年度)・R7(2025)年度] の主な取組 女化財建憲全年の関係 [R3(2021)年度、R7(2025)年度]								対象の範囲			適切である				市の歴史を裏づけ、市の独自性や魅力を 発信する上で、指定文化財の保護と活用			
_رن		文化財講演会等の開催【R3(2021)年度~R7(2025)年度】								取組の内容	S	目標の	達成に向け	けた取組を	を行ってい	るを図る	ることには	は有効である	00
2	② 取組状況 (Do①)								性	達成度		目標に	近づいてに	ハる					
			事業補助金の交付 の開催 参加者 6	7名						上位の施領	・目的への寄与	施策の	実現に寄り	∌ している	3				
	5年度	パンフレットの		-						実施手法•	運営主体	適切に	設定されて	ている					文化財所有る
ДXi	組状況								効率	又皿日只豆		適切で	ある						要に応じてi 的に進めてい
			前年度評価に伴	台改善項目		そ(の他改善項目		性	事業・サー	-ビスの水準	コスト	を抑え適切な	な水準で進	められてい	る。			
	z善策 組状況									業務プロセス	ス(進め方・手続き)	適切に	進められて	ている					
дХі	旧れへかし									施策内									
3		(Do2)						(千円)		会議での 意見等									
v		<u>Z分</u>					R6 (2024) 年度当初予算												
事 事 3	養計	А	1,442	811	1,726	1,471	3,106	1,831	6	今後の方向	的性(Action)	± = T	14044	6W6± ==		. /	左连丶		/ 左连
		F度任用職員等経費 -									□ 改善して継続 □ 対象の		状のまま	継続 L	休廃止	(実施時	年度)		年月)
	国県支										□ 事業・サ		水準の見画	直し		(実施時			年 月)
財源	受益者										□ 他事業					(実施時			月)
内	地方債									事業の 方向性	□ 業務プロ□ 民間委請			ュール等)		(実施時			年 年 月)
訳	その他	}								ハルコ	市民等			t.★		(実施時 (実施時			年 月)
	一般財	源	1,442	811	1,726	1,471	3,106	1,831			□ 受益者負	担の見	直し			(実施時	期:	1	年 月)
正服	競員 ┗	人数	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30			□ 特定財派 □ その他	の見直	U			(実施時 (実施時			月) 月)
ᅭᄱ	-n>-	人件費 C	_,		2,102	2,219	_, -,	2,196			口ての他					(天旭时	1光1・		+ 月)
総二	コストD	=A+C D	-,	_,	3,828	3,690	-,	4,027	约	攻善内容等									
うち.	人件費(正	職員+会計年度)	2,018			2,219		2,196											
		トD/人口 (円)	55.14	46.39	61.06	59.17	85.02		改	善により期									
受益	益者負担	型率B/D (%)								される効果									

受益者負担率B/D (%) 事業コード N - 5 - -1 - ①

評価対象年度	R	5	(2023) 年度	
--------	---	---	-------------	--

1 事	業概	要(Plan)	13/180 / /2	2 (202)	1/2/ -3/5	->/(01/100)	•		4	4 指標の推移	多(Check①)				0110	1/3/20 1/2		0 \ 2	.020	1/2
事業		文化財調查	事業			·	<u>-ド</u> IV - 5	- (1) - (指標		立 区分	R3(2021)	R4(2022) R5	(2023) F	R6(2024) F	R7(2025)	指	標の説明	月
		4 ROAGERE	İ	į	į		〇 国土強靭化:	也域計画				目標								
SDG	às					事業種別	5U			3		実績								
					<u> </u>		まち・ひと・	しごと創生総合戦	細各	種別	分類	達成率	-	-	-	-	-			
		長期成果								指標1単位	当たりコスト(Ŧ	円)	-	-	-	-	-	コスト効	率	-
求める	成果	→ 中期成	里!									目標								
		短其										実績								
国土強靭化	化計画	8-4 地域3	文化							2 種別	分類	達成率	_	_	_	_	_			
リスクシブ											^{クズ} 当たりコスト(Ŧ			_			_	コスト効	ster	_
事業則		H1 3 (2001		7 (2025)年度			款 9 項		1 L			[]/		_					**	
担当	課	生涯学習調	主管課等長	西口 武雄	予算科目 会	計	款 項			5 事業の評価		1		評価			≡π/∓		田田百	
関係	課				会	計	款項				項目 -ズ・実施意義	計画時	と変わら	5 · · · · ·		市の文		の理由・ 行政上、		ピのよ
事業内			する各種文化財					護・周知のた	(W)	□ 単来の二		·		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				在するか		
ずべい。						-	要 1177岁 3		計画時と変わらない				は必要である。							
手法		■ 直営	日 全部委		<u> </u>			その他		II	也域社会への影響度	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,								
	古文書調査・各種調査【R3(2,021)年度~R7(2025)年度】						24710		実施主体		市が実施主体となる必要が				₩ () #P	m	を着実に推進している。			
計画期の主な		民俗調査【F	R3 (2021) £	丰度】	7 (0005) #	- arin 3				対象の範囲	1	適切で	ある					:看実に推: の調査は		
0) <u>T</u> ,0	^{の主な収組} 宮殿・神輿調査【R4(2022)年度~R7(2025)年度】					有 取組の内容	8	目標の過	達成に向け	ナた取組を行	っている			、市で行						
2 取							達成度		目標に	近づいて	いる		と評価							
	古文書調査 (牧士川上家資料額刻等)、仏像調査 (前年度3Dデータの市H.P.での公開、3Dデータのブリント)、宮殿・神輿調査 (宮殿の悉皆調査)、考古学調査 (縄文時代貝層分析) 実施					Ĭ	上位の施策	き・目的への寄与	施策の	実現に寄	与している									
R5年	度				×116					実施手法・	運営主体	適切に	設定され	ている				じて外部		
取組划	犬況									効 受益者負担	3	適切で	ある				り、効率	的に調査	が実施る	できて
		台	が年度評価に伴	う改善百日		マーニー マーニー マーニー マーニー マーニー マーニー マーニー マーニー	の他改善項目			率 	- -ビスの水準	コストを	抑え適切な	な水準で進めら	れている	いる。 3				
改善	策	מ		プロログロ			071600日項日			III	(進め方・手続き)		進められ							
取組划	犬況										. (243/3 3 14/0/	22 93107	<u> </u>							
		(D @)						/ = 0		施策内会議での										
3 =	マント 区	(Do2)	R3 (2021) 年度決算	R4 (2022) 年度決算	R5 (2023) 年度当初予算	R5 (2023) 年度決算	₩ R6 (2024) 年度当初予	(千円 B7 (2025) 年度		意見等										
事業費		A	1,979	2,302	2,269	1,698			40	3 全後の方点	句性(Action)									
-		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1,010	2,002	2,200	1,000	1,200				回 改善して継続	続 ■ 現	状のまま	継続 口 (木廃止	(度)[」 終了	(年度)
	県支出								-		□ 対象の再					(実施時期	月:		年	月)
	益者負										□事業・サ			直し		(実施時期			年	月)
洒		로면 D								事業の	□ 他事業 d □ 業務プロ			ュール等)		(実施時期			年年	月) 月)
内型	方債						00-	,		方向性	日 民間委託			7 7047		(実施時期			年	月)
	の他	_					207			73.3.2	市民等と			拡大		(実施時期			年	月)
	般財)		1,979	2,302	2,269	1,698	·	· ·	→ I		□ 受益者負					(実施時期	_		年	月)
正職員		、数	0.30	0.30	0.30	0.30					□ 特定財派□ その他	泉の見画し)			(実施時期	_		年年	月) 月)
-1915	· /	、件費 C	2,018	2,098	2,102	2,219	_,,,,,,		I		口 · C (V) (B					大心时点	J •		-+	/J/
総コス	K FD=	=A+C D	3,997	4,400	4,371	3,917	3,459	4,44	15	改善内容等										
うち人件	費(正聘	員+会計年度)	2,018	2,098	2,102	2,219	2,196	2,19	96											
市民1人	ヘコスト	0/人口 (円)	63.69	70.18	69.72	62.81	55.47		7	Dbギに F10 +5										
受益者	負担	率B/D (%)								改善により期待される効果										
		事業コード	N - 5 -	-1 - 2		I	1	1		13 6 1 1 0 20 7										

評価対象年度	₹ 5	(2023) 年	叓
--------	-----	-------	-----	---

年度)

月)

月)

月)

月)

月)

月)

月)

月)

月)

1	1 事業概要 (Plan)													
	業名		• 文化財記録 •	保護事業			ード	W - 5	- (1)	-	3			
SE	DG s	4 ROANBRE SASK	15 Rossias			事業種	別	国土強靭化地			······································			
				<u>i</u>	<u> </u>			まち・ひと・	しこと創:	生総合	戦略			
		長期成果												
求め	る成果	■ 中期成	果											
		□ 短其												
	树化計画		文化											
	アシナリオ			= (2225) = =			41			_	_			
	業期間			7 (2025)年度		会計 一般	371	9 項	4	8	1			
	当課	生涯学習認	主管課等長	西口 武雄		会計	款	項		B				
関	係課					会計	款	項						
	業内容	報にまとめる	る。また、各種	ば掘・確認調査で を立い財の測量で	を行う。	録保存を行い、	その	成果を埋蔵	或文化原	財調配	查集			
	対象			業者・土地所で		****	サカぼ		フのル	L				
	手法	■ 直営	日 全部委用本の実施 出	託 ■ 一部 出土遺物の整理			協働 (202	5) 年度1	その他	1				
	前期間中 で取組	埋蔵文化財調	調査集報の作成	は【R3(2021 2022)・R6) • R5 (20)23) •R7 (
2	取組む	犬況(Do①)												
	5年度 組状況		地内での試掘・確認 作業、文化財(史跡 集報の刊行											
	. 4 4-4-	自	前年度評価に伴	う改善項目		7	の他改	收善項目						
取約	善策 組状況													
3		► (Do2)	10001)	- '0000		T (0000)			77 (00	(干F				
市型	養計	区分 A	R3 (2021) 年度決算 856	R4 (2022) 年度決算 761	1,386			1,119	R7 (20)		899			
事 未		, ,	000	701	1,300	902		1,119		٦,٠	599			
		年度任用職員等経費												
	国県支													
酒	受益者													
内	地方債													
訳	その他	р												
	一般則	才源	856	761	1,386	932	2	1,119	Ī	1,3	399			
正暗	4 =	人数	0.20	0.20	0,20	0.20)	0.20		0).20			
TT #9	枳	人件費 C	1,345	1,398	1,401	1,479)	1,464		1,4	164			
総二	コスト[D=A+C D	2,201	2,159	2,787	2,41		2,583		2,8	363			

うち人件費(正職員+会計年度)

市民1人コストD/人口(円)

受益者負担率B/D(%)

1,345

35.08

事業コード Ⅳ - 5 - -1 - ③

1,398

34.44

1.401

44.46

1,479

38.67

1.464

41.42

4 指標の推移(Check①) 指標名 単位 区分 R3(2021) R4(2022) R5(2023) R6(2024) R7(2025) 指標の説明 目標 実績 種別 分類 達成率 指標1単位当たりコスト(千円) コスト効率 目標 実績 種別 分類 達成率 指標1単位当たりコスト(千円) コスト効率 5 事業の評価 (Check2) 項目 評価 評価の理由・課題 開発に伴う埋蔵文化財の調査は文化財 事業のニーズ・実施意義 計画時と変わらない 保護法に基づく業務であり、市で実施 市が関与する必要性 計画時と変わらない することが必要な業務である。 要 市民生活・地域社会への影響度 大きい 実施主体 市が実施主体となる必要がある 市内の埋蔵文化財についての情報を把 対象の範囲 適切である 握する市で行うのが最も有効性が高 取組の内容 目標の達成に向けた取組を行っている 効 達成度 目標に近づいている 性 上位の施策・目的への寄与 施策の実現に寄与している 工事内容に応じて埋蔵文化財への対処 実施手法•運営主体 適切に設定されている 方法を変え、重機の提供など受益者負 受益者負担 適切である 担も状況に応じて求めており、市歳入 率 には反映されないが効率的に実施して 事業・サービスの水準 コストを抑え適切な水準で進められている 性 いる。 業務プロセス(進め方・手続き) 適切に進められている 施策内 会議での 意見等

6 今後の方向性 (Action) □ 改善して継続 ■ 現状のまま継続 □ 休廃止 (年度) □ 終了 年 □ 対象の再設定 (実施時期: 年 □ 事業・サービス水準の見直し (実施時期: 年 □ 他事業との連携・統合 (実施時期: 年 事業の □ 業務プロセスの改善(スケジュール等) (実施時期: □ 民間委託を導入・拡大 年 方向性 (実施時期: 年 □ 市民等との協働を導入・拡大 (実施時期: 年 □ 受益者負担の見直し (実施時期: 年 □ 特定財源の見直し (実施時期: 年 □ その他 (実施時期: 2,863 改善内容等 1,464 改善により期 待される効果

評	価対象年	烞	R	5	(2023)年度							
23)	R6(2024)	B7(2	2025)		指標の説明							
	110120211			18 18 0 0 19 1								

	令和6年度(2024年度)事務事業評価シート 事業概要 (Plan)														
1 事業 事業名	既要(Plan) 市史編さん	車業								<u>- ド</u>	π/	- 5	_ (1) -	4
尹未石	4 306×08×2				ī	- 1				- 11	1				4
SDGs	4 5,50	11 gardinan			ļ	ł			事業種	21I	国土引	強靭化地	域計画	1	
SDGS		ABB	Ē		į	į			尹本1主	פני	まち・	・ひと・	しごと	創生総合	戦略
	長期成果	-			-										
求める成果															
	●● 中期成果														
国士強靭化計画	, =														
リスクシナリオ															
事業期間	S54(1979	9)年度	~ R	7 (20	25)年度		Ê	計	一般	款	9	項	4	B	1
担当課	生涯学習記	果 主管語	課等長	西口	1 武雄	予算科[3 会	計		款		項		B	
関係課	総務	課		秘書	課		会	計		款		項		B	
事業内容															
対象	市内の文化	財、文化	財を伝	承する	る市民、	市で作成	廃類	€され	る行政資	賢料。					
手法	■ 直営		全部委		■ 一音			助金		協	動		その)他	
計画期間中	歴史公文書(
の主な取組															
		* 1110	(202	17 -	7X 111	(2020)	713	4.1							
2 取組	伏況(Do①)	集40 22 III		n sin ho a f	a 夕廷性	PITH									
	歴史公文書の収	乗 Ⅰ∠相 • 切	1修云/10	グラル141	山・合俚情報	牧以果									
R5年度															
取組状況															
	È	前年度評	価に伴	う改制	自百日				7	· の他	改善]	百日			
改善策		,5 T/X011		J 4, L						ے ا	-~	<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>			
取組状況															
	ト(Do②) 文分	D3 (0004)	Car minute (see	D4 (00)	22) 年度決算	R5 (2023) 年度	EM OF WOR	DE (00	23) 年度決	w ne	2024) ~	an water State	D7 ((千	/
している。 事業費計	A A	n3 (2021)	44	n4 (20)	22) 年度決算		118	rio (20	23) 年度決	4	ZUZ4) ¤	91	H1 (2		123
			44		48		110)C	,		91			123
うち会計	年度任用職員等経費														

0	^	1 (DOZ)						
		区分	R3(2021)年度決算	R4(2022)年度決算	R5(2023)年度当初予算	R5(2023)年度決算	R6(2024)年度当初予算	R7 (2025) 年度計画
事第	養計	А	44	48	118	50	91	123
うち会計年度任用職員等経費		年度任用職員等経費						
国県支出金		支出金						
財 受益者負担 B		皆負担 B						
源内	地方侧	ŧ						
訳	その作	也						
	一般則	 財源	44	48	118	50	91	123
正則	# 2	人数	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
ШДЕ	纵只	人件費 C	673	699	701	740	732	732
総=	コスト[D=A+C D	717	747	819	790	823	855
うちん	人件費(ī	E職員+会計年度)	673	699	701	740	732	732
市民	1人コス	(下D/人口 (円)	11.42	11.92	13.06	12.66	13,20	
受益	益者負担	坦率B/D (%)						
		事業コード	N - 5 -	-1 - ④				

4	指標の推移	(Check(1))
4	担保の推修	(Crieck III)

_	4 18 TO SEE OF COLLECTOR													
		指標名			単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	指標の	D説明	
						目標								
	1)					実績								
	יע	種別	分類			達成率	-	-	-	-	-			
		指標1単位当たりコスト				3)	ı	-	-	-	-	コスト効率	-	
						目標								
	2)					実績								
	ا	種別	分類			達成率	-	-	-	-	-			
		指標1単位当たりコスト(千円)			9)	ı	-	-	-	-	コスト効率	-		

5 事業の評価(Check2)

П		事業の評価 (Uneck公)		
1		項目	評価	評価の理由・課題
1		事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	白井市を「知る」上で市史は必要であ
	必要	市が関与する必要性	計画時と変わらない	り、その事業は白井市で行うことが最 も適格であることから。
	性	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
4		実施主体	市が実施主体となる必要がある	
		対象の範囲	適切である	計画通り歴史公文書の収集を実施し資
	有効	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	料収集することができたことから。
	性	達成度	目標に近づいている	
		上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
		実施手法・運営主体	適切に設定されている	必要最低限の事業を実施し、可能な部
	効率	受益者負担	適切である	分は外部委託していることから。
1	性	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
		業務プロセス(進め方・手続き)	適切に進められている	
Đ	Ê	施策内 :議での 意見等		

6 今後の方向性(Action)

		₽	改善して継続 ■ 現状のまま継続 □	休廃止(年度) 🛮 終了	(年度)
			□ 対象の再設定	(実施時期:		年	月)
			□ 事業・サービス水準の見直し	(実施時期:		年	月)
			□ 他事業との連携・統合	(実施時期:		年	月)
l	事業の		□ 業務プロセスの改善(スケジュール等)	(実施時期:		年	月)
	方向性	╽┕	□ 民間委託を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
l			□ 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期:		年	月)
l			□ 受益者負担の見直し	(実施時期:		年	月)
			□ 特定財源の見直し	(実施時期:		年	月)
			□ その他	(実施時期:		年	月)
	改善内容等		基本計画期間は現状のまま継続し、次期基 対するものとすると令和2年10月の行政約			収扱し	ハについて
	改善により期 待される効果						

事業コード Ⅳ - 5 - -2 - ①

1 事業概	要(Plan)		♥ (ZUZ++	+这人 争切手	米町巡り	1		4	指標の推利	移(Check①)	ı		о⊤ іш ⁄	50多千尺	11 0	(2020	7 午及
		展示・教育普及	事業		7-	F N - 5	- (2) - (1)		指標			R3(2021) R4(2022)	R5(2023) R6	6(2024) R7(2	2025)	指標の記	
7.0	4 Magazine		i	į		国土強靭化地					目標						
SDGs			į	į	事業種別		13(6) 回				実績						
				Ì		まち・ひと・し	しごと創生総合戦略	(1)	種別	分類	達成率		-	-	-		
	長期成果	-	-	-	•					当たりコスト	(壬円)		-	_	- 77	人分郊率	_
求める成果	中期成	B							70 18: 1 12		目標					11 7/3 1	
	知 短其										実績						
国土強靭化計画	7/2/	03724214						2	種別	分類	達成率						
リスクシナリオ								 			1		_	_		L thata	
事業期間	H6(1994))年度 ~ R	7 (2025)年度	会	計一般		4 🗏 8		指標1単位	当たりコスト	(十円)		-	-	- 17	人分率	_
担当課	文化センタ	ー 主管課等長	髙花 宏行	予算科目 会	計	次 項	目	5		価(Check②)		=== /==			===//17 => 19		
関係課				会	計	次 項	B			項目	= 1 = 0	評価		细十次业金		曲・課題 歴史文化	た伊護し
事業内容					科及び歴史情報で	を展示公開する	る。また、郷土	业		-ズ・実施意義		と変わらない				にまる。	
3 -111 - 2		文書講座、体駁	食教室を開催す	る。				要	마까()	する必要性		と変わらない		化の発展に		ために不可	
対象 手法	市民 ■ 直営	□ 全部委	託 ■ 一部	『柔詳 口 姑	助金等 □	協働	その他	性		地域社会への影響				る。			
	■ ES常設展示(HT L JOSEY	100五子 口	加到 口	C0716		実施主体		市が実	施主体となる必要	がある				
計画期間中の主な取組	• 企画展示(の実施							対象の範囲	#	適切て	ある				· 体験教室	
の土な取組	・郷土史講派	座、古文書講座	≧、体験教室の	開催				有	コスルロしファゴロ	容	目標の	達成に向けた取組を	を行っている	伝えること		計の歴史	• 又16を
2 取組状	t況 (Do①)							効性			目標に	近づいている		II/C G C C	_,,,		
					催した。来年度の企画 ・中級領令11回)					策・目的へのき	- 施策σ	実現に寄与してい	る				
R5年度					中級編全11回)延(2回)延べ63人参		映教室(よか玉)へ		実施手法・	• 運営主体	適切に	設定されている		郷土資料る	を扱う専門	的な業務が	がほとん
取組状況								効	受益者負担	8	適切て					作成や講	座等の運
	<u> </u>	前年度評価に伴	この 美石口		20)他改善項目		率		<u>-</u> −ビスの水準		を抑え適切な水準で進	められている	営を独自	で行ってい	るため。	
改善策			画展に伴い図録	を発行	~0,	心心以苦项目		性		ス(進め方・手続き		進められている	05 541 6410				
取組状況			当成に ((い)と)	K 27013					1	へ(進めり・子前で		にという					
	(= C)								施策内会議での								
	· (Do②) 区分	D2 (2004) 年度沖雪	P4 (2022) 年度沖管	DE (2022) 任度米加速能	R5 (2023) 年度決算	DS (2024) 任度兴和圣笛	(千円)		意見等								
事業費計	Δ <u>.</u>	551	689	464	389	1,886	580		Δ% σ±1	5 44 (A 11)							
-	F度任用職員等経費	331	003	404	309	1,000	300	6	ラ俊の刀に	向性 (Action) □ 改善して		見状のまま継続] 休廃止	(年度) □ 糸	&了 (年度)
											の再設定			実施時期:	/ 🗆 🖟	年	月)
国県支 財 受益者		0.5	450	70	70	000	100					水準の見直し		実施時期:		年	月)
\F		95	152	72	70	282	100		±**		業との連携			実施時期:		年年	月) 月)
内地刀頂									事業の 方向性	□ 民間		善(スケジュール等) • 城 大	`	実施時期: 実施時期:		年	月) 月)
訳その他									731-31-1			を導入・拡大		実施時期:		年	月)
一般財	源	456	537	392	319	1,604	480				者負担の見		(実施時期:		年	月)
1下職員 💄	人数	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70				財源の見直	U		実施時期:		年年	月) 月)
工49/只	人件費 C	4,708	4,894	4,904	5,178	5,125	5,125			□ その	쁘			実施時期:		4	H)
総コストD	=A+C D	5,259	5,583	5,368	5,567	7,011	5,705	24	收善内容等								
うち人件費(正	職員+会計年度)	4,708	4,894	4,904	5,178	5,125	5,125										
市民1人コスト	トD/人口 (円)	83.81	89.06	85.63	89.26	112.42											
受益者負担	型率B/D (%)	1.81	2.72	1.34	1.26	4.02	1.75	改	善により期								

評価対象年度	R	5	(2023)年度	
--------	---	---	----------	--

_ 1 事業概	要(Plan)							4	指標の推	移(Check①)									
事業名	市民学芸スク	タッフ古文書修	補活動事業			F N - 5	- (2) - (2)		指標	票名	単位	区分	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023) F	R6(2024)	R7(2025)	指標	の説明	
SDGs	4 ROADBRE				事業種別			1	修補活動参	加者	人	目標実績	10 7	10	10	10	10	て認定証を	タッフとし、活	
	長期成果	į	į	j		\$5.00.	しごと創生総合戦略	(1)	種別 指標 1 単位	分類 当たりコスト	(千円	達成率	70.0 588.0	80.0 524.7	90.0 496.6	-		動している	_	
求める成果	中期成果											目標実績								
国土強靭化計画								2	種別	分類		達成率	_	_	_	_	_			
リスクシナリオ										当たりコスト	(工口		_	_	_	_		コスト効率	_	
	H18(2006		7 (2025)年度	会記		9 項	4 🗏 8	╚				J)						コヘトが生	*	
担当課	文化センタ	- 主管課等長	髙花 宏行	予算科目 会記		次 項		5		価(Check② 項目)			評価			≣17/	面の理由・調	3.8百	
関係課				会						以口 −ズ・実施意義		計画時	と変わられ			市の限			ある古文書	
事業内容			ッフ)と協働し スタッフ)を育	ノて古文書の修 育成する。	補作業を行う。	また、修補技	技能の継承に向	必	市が関与で	する必要性			と変わられ			を良好	な状態で	で残していく	ことは、先	
対象		タッフ古文書修						要件	市民生活・	地域社会への影	響度	大きい							って欠かせ	
手法	■ 直営 ・古文書の(□ 全部委 多補活動の実施		委託 □ 補助	カ金等 ■	協働	その他	,	実施主体		ī	市が実	施主体と	なる必要が	がある		このである			
計画期間中の主な取組			タッフ) の育原	艾					対象の範囲	Ħ	ì	適切で	ある							
の主な取組								有効		容	[目標の	達成に向け	けた取組を	行っている				での活動とな 可の伝承とい	
2 取組状								性				目標に	近づいて	いる		う役割を果たしている。				
DC 45 #5		スタッフの育成を行								策・目的への智			実現に寄		<u>5</u>	+==	4++			
R5年度 取組状況	• 沽鱽日数 /5日	修補点数26点([*]	157权)					Δħ	,	• 運営主体			設定されて	ている				ッフによる修 ランティア活		
耳入川山イベルし								効率	文皿日只1	<u> </u>	ì	適切で	ある					うわている。	1±0 € 65.5 €	
7.6 24 7/5	自	が年度評価に伴	う改善項目		その	D他改善項目		性	事業・サー	-ビスの水準					められている	5				
改善策 取組状況									業務プロセス	ス(進め方・手続	き) ;	適切に	進められて	ている						
30,000,000									施策内											
	(Do2)						(千円)		会議での 意見等											
	<u>〈</u> 分			R5 (2023) 年度当初予算 F																
事業費計	А	81	2	150	31	160	170	6	今後の方向	向性(Action	_	— TE	W 0 + +	νινν± ⊏	1 /+ circ - L	, ,	 		/ 左帝 \	
	度任用職員等経費									□ 対象			状のまま	体上	休廃止	(実施時		□ 終了	(年度) 年月)	
国県支													水準の見画	直し		(実施時		:	年 月)	
財受益者源									NIK	口他事				tetes		(実施時			年 月)	
内地力領									事業の 方向性	□ □ 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三			∮(スケジ ・tr+	ュール等)		(実施時)			年 月) 月)	
訳その他	})1161T				・拡入 を導入・ !	広大		(実施時			月)	
一般財	源	81	2	150	31	160	170			口受益	者負担	担の見	直し			(実施時	期:		月)	
正職員	人数	0.60	0.60	0.60	0.60	0,60				□ 特定 □ その		の見直				(実施時)			年 月) 月)	
T-1445	人件費 C	4,035	4,195	4,204	4,438	4,393	0				שוע					(天旭时	只月·		中 月/	
	=A+C D	4,116	4,197	4,354	4,469	4,553	170	2;	改善内容等											
うち人件費(正		4,035	4,195	4,204	4,438	4,393	0													
市民1人コスト	~D/人□ (円)	65.60	66.95	69.44	71.66	73.00		7.47	善により期											
受益者負担	■率B/D (%)								される効果											
	事業コード	₩ - 5 -	-2 - 2																	